もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 オンラインマニュアル、できる dynabook への参照の場合 …《　》 オンラインマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム　特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版またはMicrosoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005 operating system日本語版を示します。

Windows　Windows XPを示します。

Office Personal 2003
Microsoft® Office Personal Edition 2003を示します。

Office OneNote 2003
Microsoft® Office OneNote® 2003を示します。

MS-IME　Microsoft® IME 2003／ナチュラル インプット 2003を示します。

オンラインマニュアル
パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。
デスクトップ上の「オンラインマニュアル」アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ　DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

タブレットPCモデル
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005 operating system日本語版がプレインストールされているモデルを示します。

タブレットペン
dynabook用タブレットペンを示します。
タブレットPCモデルのみ同梱されています。

Office搭載モデル
Microsoft® Office Personal Edition 2003およびMicrosoft® Office OneNote® 2003がプレインストールされているモデルを示します。

OneNote搭載モデル
Microsoft® Office OneNote® 2003がプレインストールされているモデルを示します。

記載について

・記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
  モデルについては、「用語について」を参考にしてください。
・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや同梱のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・本書では、タブレットPCモデルで、タブレットペンを使用してタップする操作も「クリック」と表記しています。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、OneNote、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・BeatJamは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・BeatJamは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJamにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・LaLaVoiceは株式会社東芝の登録商標です。
・Sonic RecordNow!はSonic Solutionsの登録商標です。
・「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
・infoPepperは東芝情報システム株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

・周辺機器を接続して本製品を使用する場合
・AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
・マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
・本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
・複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
　目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
・目安として、気温５～30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。
この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0120-97-1048＊にお問い合わせください。

＊2005 年９月 13 日（火）から。2005 年９月 12 日（月）までは 0570-00-3100 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。

・Windows のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェア領域を壊すおそれがあります。

・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。

・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。

・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』またはインターネット経由で登録できます。

参照 詳細について『さあ始めよう 5章 3 お客様登録をする』

『保証書』は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1章

トラブルを解消するまで

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。
「dynabook.com」で情報を調べる方法なども紹介しています。
トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

1　トラブルを解消するまでの流れ

お使いのパソコンに起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

1　トラブルを解消するには

パソコンに起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、パソコンの構造をある程度知っておくことが必要です。ここでは、パソコンの構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

【 パソコンを構成する３つの部分 】

アプリケーションソフトウェア

メール、インターネット、Word（文書作成ソフト）、Excel（表計算ソフト）、ウイルスチェックソフトなど

＊それぞれ製造元が異なります。

⇩

OS（オペレーティングソフト）＋ドライバ（周辺機器）

パソコンのOS
Windows（OS）

＋

ドライバ
ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、マウスなど

⇩

パソコン本体（ハードウェア）

画面（ディスプレイ）、キーボード、バッテリ、ACアダプタ、ハードディスク、CPUなど

パソコンはこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状にあわせた対処をすることが解決への早道です。

トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→ OS、ドライバ→パソコン本体の順にチェックします。

STEP1 アプリケーションソフトウェアのチェック

例１：メールやインターネットがつながらない

アクセスポイントやメールサーバ、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダごとに異なります。契約プロバイダから指定された設定データが正しくパソコンの設定に反映されているかを確認してください。

例２：使いかたがわからない

紙マニュアルやオンラインマニュアルを読んで、アプリケーションソフトの使いかたを確認します。

次頁Aへ

STEP2 OS やドライバのチェック

例３：正常に画面が表示されない、音が出ない、設定があっているのにインターネットにつながらない

例４：青い画面で「STOP0X*******」（一般に「STOP エラー」や「ブルースクリーン」「ブルーパニック」とよばれる画面）が表示された**

周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解決する場合が少なくありません。追加した周辺機器をはずしてみてはどうか、追加したソフトを削除してはどうかなどと試してみてください。

次頁Bへ

STEP3 パソコン本体のチェック

例５：電源ランプが点灯せず、パソコンがまったく動かない。ドライバを入れ直しても機器が動かない

パソコン本体が動作する場合は、「再セットアップ」を行ってください。「再セットアップ」は、ハードディスクのデータが消えるため、バックアップを行うことをおすすめします。

次頁Cへ

A 各アプリケーションのトラブル解消法／プロバイダへのお問い合わせ

例１：プロバイダへのお問い合わせについて

お客様ご契約のプロバイダの窓口へお問い合わせください。
本製品の「簡単インターネット」などから契約できるプロバイダのお問い合わせ先は『図解で読むマニュアル』を参照してください。

例２：アプリケーションの使いかたについて

『図解で読むマニュアル』やオンラインマニュアル、各アプリケーションのヘルプをご確認いただくか、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

B OS、ドライバのトラブル解消法

例３：ドライバの入れ直しについて

『応用にチャレンジ ３章 1-❶-1 ドライバをインストールする』を参照してください。

例４：セーフモードで起動する操作について

「本章 3-❷ セーフモードで起動する」を参照してください。

例４：周辺機器の取りはずしについて

『応用にチャレンジ ３章 周辺機器の接続』を参照してください。

⇩

それでもトラブルが解消しない場合には、「東芝 PC ダイヤル」へお問い合わせください。

参照 「本節 ❷ 東芝 PC ダイヤル」

C パソコン本体のトラブル解消法

例５：必要なデータのバックアップをとる操作について

「２章 バックアップ」を参照してください。

例５：再セットアップについて

「４章 ２ システムの復元」を参照してください。

⇩

それでもトラブルが解消しない、あるいはまったくパソコンが動かない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。パソコンの修理は、「東芝 PC 集中修理センタ」へ依頼してください。
パソコンの操作について、困ったときは、「東芝 PC ダイヤル」へお問い合わせください。

参照 「本節 ❸ 東芝 PC 集中修理センタ」

参照 「本節 ❷ 東芝 PC ダイヤル」

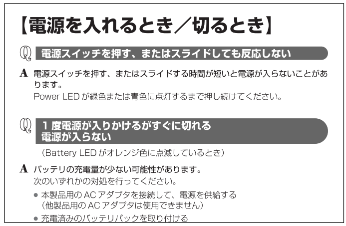
本書 Q&A や同梱マニュアル、FAQ の紹介

パソコンのトラブルの原因は多岐にわたるため、ここですべてを紹介することはできません。それぞれのお問い合わせ先／サポート窓口にご連絡いただく前に、次に紹介する情報をご活用ください。

【「Q&A 集」(QA 集) 】

よくお問い合わせのあるパソコントラブルの解決方法を、Q&A 形式で説明しています。
Q&A 形式での説明は、本書、オンラインマニュアルの「QA 集」、「よくあるご質問」にあります。
「よくあるご質問」は、「東芝 PC ダイヤル」に特に問い合わせの多い項目をまとめています。インターネットに接続しなくても見ることができます。
本製品の電源を入れた状態でデスクトップの［よくあるご質問］アイコンをダブルクリックすると起動できます。

参照 「3 章 Q&A 集」
《オンラインマニュアル（検索）: QA》

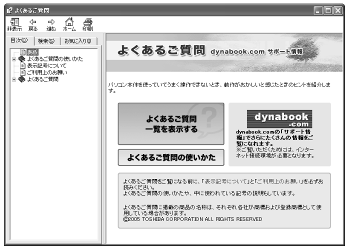

【電源を入れるとき／切るとき】

Q 電源スイッチを押す、またはスライドしても反応しない

A 電源スイッチを押す、またはスライドする時間が短いと電源が入らないことがあります。
Power LED が緑色または青色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる
電源が入らない
（Battery LED がオレンジ色に点滅しているとき）

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。
次のいずれかの対処を行ってください。
● 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
● 充電済みのバッテリパックを取り付ける



【 オンラインマニュアル 】

オンラインマニュアルでは、アプリケーションの紹介や知っておくと便利なこと、Q&A 形式の「QA 集」など、さまざまな情報を検索できます。
オンラインマニュアルは本製品の電源を入れた状態でデスクトップの［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックすると起動できます。



【 dynabook.com　よくあるご質問（FAQ）】

URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm



インターネットへ接続して、ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」にある「よくあるご質問（FAQ）」で解決方法を検索できます。
また、「よくあるご質問（FAQ）」を探しても問題が解決できないときは、メールにてお答えするオンライン相談窓口「東芝 PC オンライン」をご利用ください。

参照 「本節 ❹ 本製品のサポート情報を見る」

モジュールのダウンロード

「dynabook.com」では、ドライバ、BIOS、アプリケーションなどのさまざまなモジュールを検索し、ダウンロードすることができます。
最新モジュールをインストールすることで、パソコンのトラブルを解決できるケースがあります。OS をアップグレードしたい場合は OS にあったモジュールをダウンロードしてください。

URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm



インターネットへ接続して、ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」にある「ダウンロード」から検索できます。
［キーワード検索］では、本製品のシリーズ名などを選択すると、モジュールの情報が一覧表示されます。

2 東芝 PC ダイヤル

2005 年 9 月 13 日（火）より、PC ダイヤル問い合わせ番号が変更となります。

ナビダイヤル ： 全国共通電話番号 ： 0570-00-3100（サポート料無料）
受付時間 ： 9:00 ～ 19:00（年中無休）

［電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください］

海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT 以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780 でお受けしています。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝 PC ダイヤル」（http://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial.htm）にてお知らせいたします。

●変更後のお問い合わせ先

全国共通電話番号 ： 0120-97-1048（通話料・サポート料無料）
受付時間 ： 9：00 ～ 19：00（年中無休）

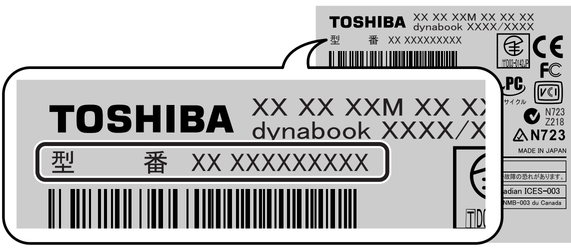
［電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください］

海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780 でお受けしています。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝 PC ダイヤル」（http://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial.htm）にてお知らせいたします。

【 型番の確認 】

お問い合わせの際は、あらかじめ型番（機種名）をご確認ください。型番（機種名）は、本体裏側に貼られたラベルに記載されています。



1 トラブルチェックシート

東芝 PC ダイヤル（前ページ参照）では電話での本製品の技術的な質問、お問い合わせにお答えいたします。円滑に対応させていただくために、次の内容をまとめ、お手元にお使いのパソコンをご用意のうえ、お問い合わせください。

Q.1 使用しているパソコンの型番は？
型番は本体裏面のラベルに記載されています。

Q.2 使用しているソフトウェア環境は？
Windows XP など、使用しているシステムとアプリケーションは？
システムのバージョンや CPU の種類を「東芝 PC 診断ツール」で確認してください。

Q.3 どのような症状が起こりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？
表示された場合、表示内容をお知らせください。

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？
□ 一度発生したが、その後発生しない　□ 常に発生する
□ 電源を切らないと発生するが、電源を切ってから再起動すれば発生しない
□ 電源を切ってから再起動しても必ず発生する　□ その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？
□ ある一定の操作をすると発生する
□ どんな操作をしても発生する　□ その他：

Q.8 インターネットや通信に関する相談の場合
プロバイダ名：　使用モデム名：
使用回線：□ ブロードバンド　□ ダイヤルアップ接続
□ ISDN 接続　□ 携帯電話・PHS 接続

Q.9 周辺機器に関する相談の場合
機器名（製品名）：　メーカー名：

---

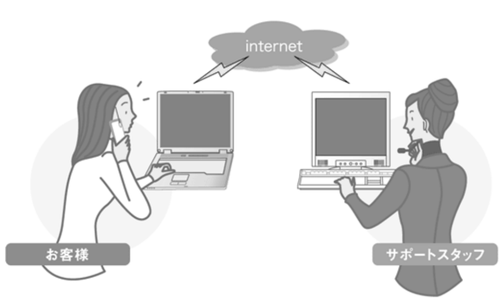
2 遠隔支援サービス

URL：http://dynabook.com/assistpc/remote/index_j.htm

「遠隔支援サービス」は、お客様のパソコン画面をサポートスタッフがインターネット経由で拝見しながら、技術サポートを行うサービスです。実際のパソコン操作は、サポートスタッフからの電話とお客様のパソコンに表示されるマーカの指示に従い、お客様ご自身で行っていただきます。

メモ

- 本サービスの利用を希望される場合は、事前にPCダイヤルにご相談をお願いします。ご相談されずに本サービスを利用することはできません。
- 画面の画像情報を通信するためにブロードバンド回線（ADSLなど）が必要となります。また、電話にてサポートを行うため、インターネットと同時に電話が接続できることも必須となります。
- 本サービスでは、画面情報のみ送信されます。画面に表示されない限り、スタッフがパソコン本体に保存されている情報を見ることはできません。また、本サービスはセキュリティ対策を行っております。情報は暗号化されて送られ、個人情報の漏洩などのおそれはありません。
- 本サービスでは、お客様のパソコンに操作案内用のマーカを表示するためのデータを送りますが、お客様のパソコンの内部データを書き換えることは一切ありません。
- 本サービスは登録が不要です。同意事項を了承いただくことで、利用できます。本サービスは無償サービス*です。
  * PCダイヤルへの通話料金やインターネットに接続するための費用などは、お客様の負担となります。

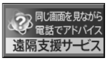


お客様

電話やマーカなどによる案内に従い、お客様ご自身でパソコンを操作していただきます。

PCダイヤル

お客様のPCの画面をPCダイヤル側で拝見します。その画面を見ながら、的確な操作方法を電話でお伝えします。

「遠隔支援サービス」に接続する場合は、インターネットに接続してからデスクトップ上の 

をクリックし、表示された画面の  をクリックしてください。
詳しい接続方法、動作環境なども記載しております。

3 東芝PC集中修理センタ

パソコンの修理のお申し込みは、東芝PC集中修理センタに連絡してください。
修理のお申し込み方法には、次の3つがあります。

お申し込み方法

■インターネット

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm

からお申し込みください。

■ Fax

「修理依頼シート」（同梱の『東芝PCサポートのご案内』に記載）に必要事項を記入のうえ、

Fax 043-278-8137 に送付してください。

＊ Fax番号は、おまちがえのないよう、お確かめのうえおかけください。

「修理依頼シート」は当センタのホームページ

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm

からも印刷できます。

■電話

通話料無料　ハロー クイックニ

TEL 0120-86-9192

受付時間 9:00 ～ 17:30（祝日、特別休日を除く）
海外からの電話、携帯電話等、上記電話番号に接続できない場合は

TEL 043-278-8122 までご連絡ください。

＊電話番号は、おまちがえのないよう、お確かめのうえおかけください。

ピックアップサービス

修理の際は、簡単・便利な「ピックアップサービス」をご利用ください。
輸送業者がパソコン輸送専用の梱包箱を持参してご自宅まで伺い、面倒な梱包から引き取り、修理完了後の納品まで行います。
※「ピックアップサービス」はメーカ保証修理の場合、「無料」です。

【 お申し込みの際、必ずご確認ください 】

- 保証期間中に故障した場合、保証書に記載の「保証修理規定」に従い、無料修理をさせていただきます。
- 修理依頼の際は、記憶装置内の内容は保証いたしません。必ずバックアップをお取りください。また、修理にともなうハードディスクの修理・データの初期化（標準出荷状態）の際は、記憶装置内の内容が消去されることをあらかじめご了承ください。
- その他詳細につきましては、当センタのホームページ（http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm）に記載の「修理規約」をご覧ください。
- お客様のプライバシー・個人情報の保護については、「個人情報保護方針」http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm をご覧ください。

4 本製品のサポート情報を見る

「dynabook.com」では、「よくあるご質問（FAQ）」や、デバイスドライバや修正モジュールなどのダウンロード、Windows 関連情報を提供しています。
また、インターネットでのお客様登録を行うことができます。
サポート窓口や修理についても案内しています。
インターネットに接続してから、デスクトップ上の 

をクリックするとdynabook.com の説明画面が表示されます。
URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm



よくあるご質問（FAQ）
パソコンの操作に困ったときに、解決方法を探すことができます。
参照 「本項-パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問（FAQ）」」

ダウンロード
デバイスドライバや修正モジュールをダウンロードできます。
参照 「本節❶-モジュールのダウンロード」

ウイルス・セキュリティ情報

技術的なご相談／修理のご相談

お客様登録

（表示例）

相談窓口やPCのリサイクル、お客様登録については、「1章 トラブルを解消するまで」、「5章 アフターケア」、『さあ始めよう 5章3-❶ 東芝ID（TID）お客様登録のおすすめ』にも詳しく紹介されています。

「東芝PC集中修理センタ」や「遠隔支援サービス」など、本書で紹介されているサポートのアドレスもこのページからアクセスすることができます。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［インターネット］をクリックする

Internet Explorerが起動します。
購入時の状態では、起動して最初に本製品のサポート情報のページが表示されるように設定されています。

参照 インターネットの接続について《できるdynabook》

【 パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問（FAQ）」 】

「よくあるご質問（FAQ）」では、日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。



（表示例）

キーワード検索では、条件の選択やキーワードや文章を入力して、検索できます。



（表示例）

サポート情報は、最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。

【 メールで質問する「東芝PCオンライン」】

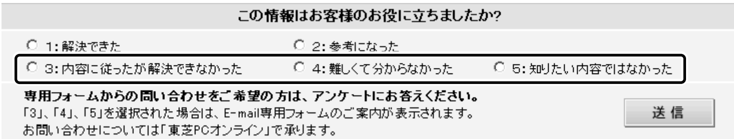
「よくあるご質問（FAQ)」を探しても問題が解決できないときは、専用フォームからお問い合わせください。24時間365日いつでも受け付けており、サポート料は無料です。

ご利用には「お客様登録」が必要ですので、事前に登録をしてください。

参照 『さあ始めよう 5章 3-❶ 東芝ID（TID）お客様登録のおすすめ』

1 「よくあるご質問（FAQ)」で解消方法を探す

2 「A. 回答・対処方法」の説明の後のアンケートに答える



「3」「4」「5」のいずれかの項目にチェックをつけてください。「1」「2」の項目を選択すると、メールでのお問い合わせはできません。

3 ［送信］ボタンをクリックする

PCオンラインへのリンク画面が表示されます。

4 「東芝PCオンライン」をクリックする

画面の指示に従って専用フォームからご質問ください。
メールにてご回答させていただきます。

質問内容、お問い合わせ状況により、回答にお時間をいただくことがございます。ご了承ください。

この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。アプリケーションについて知りたいことがあるときは、ホームページを確認するのも良いでしょう。

参照 ホームページアドレスについて
『図解で読むマニュアル 問い合わせ先』

2 トラブル解消に役立つ操作

トラブルを解消するために、パソコンの設定を変更する必要がある場合があります。
ここでは、パソコンの設定を変更するときによく使う操作を説明します。

1 コントロールパネルを開く

コントロールパネルとは、パソコンのいろいろな設定をまとめたフォルダです。パソコンの設定を変更したいときには、まずコントロールパネルを開き、その中から目的の設定を行うオプション画面を選ぶことがよくあります。
コントロールパネルの開きかたを説明します。

1 開きかた

1 ［スタート］①→［コントロールパネル］をクリックする②



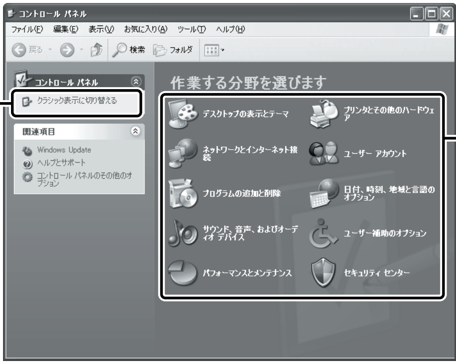
（表示例）

2 ［コントロールパネル］画面

［コントロールパネル］は、オプションとカテゴリで構成されています。
オプションとは、［画面］や［サウンドとオーディオデバイス］など、具体的な設定画面のことです。設定内容を絵で表したアイコンで表示されます。
カテゴリとは、コントロールパネルのいろいろなオプションを、内容別に大きく分類したものです。
実際の設定変更はオプションで行います。
［コントロールパネル］画面には、目的のカテゴリを選択する画面（カテゴリ表示）と、すべてのオプションから選択する画面（クラシック表示）の２種類があります。
２つの画面は互いに切り替えることができます。

＊本書では、カテゴリを表示しているという前提で、操作の説明をしています。

カテゴリだけを表示する画面



各アイコンや下線部をクリックすると、各カテゴリのメニューが表示されます。

（表示例）

下線部をクリックすると切り替わります。

すべてのオプションを表示する画面



各アイコンをダブルクリックすると、オプション画面が開きます。

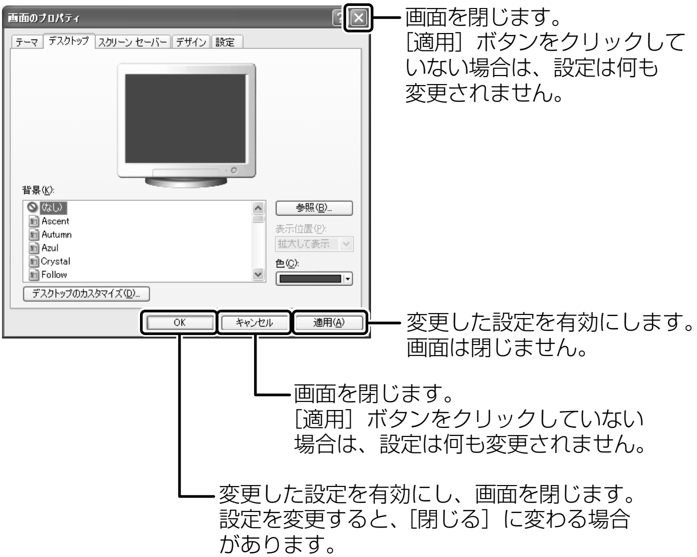
（表示例）

3 コントロールパネルの閉じかた

設定や確認をした後の、[オプション] 画面と [コントロールパネル] 画面の閉じかたを説明します。

1 [オプション] 画面を閉じる

変更した設定を有効にするかどうかによって、閉じかたが異なります。
[適用] ボタンをクリックした後に、[キャンセル] ボタンまたは [閉じる] ボタン（ ）をクリックしても変更した設定を無効にすることはできません。もう 1 度 [オプション] 画面を開いて設定しなおしてください。



オプションから複数の画面を開いていた場合は、1 つ前に表示されていた画面に戻ります。
オプションの画面をすべて閉じると、[コントロールパネル] 画面に戻ります。

2 [コントロールパネル] 画面の [閉じる] ボタン（ ）をクリックする

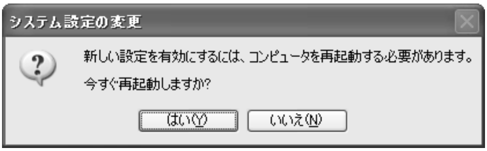
[コントロールパネル] 画面が閉じます。

2 パソコンを再起動する

再起動とは、1 度パソコン本体の電源を切り、自動的に再び電源を入れることです。設定を変更した後に、設定を有効にするにはパソコンの再起動が必要な場合があります。
システムが次に起動したときから設定が適用されます。

1 「再起動しますか？」と表示された場合の方法

設定を変更した後に、次のようなメッセージが表示される場合があります。



1 ［はい］ボタンをクリックする

パソコンが再起動します。

2 自分で再起動する方法

1 ［スタート］①→［終了オプション］をクリックする②

タブレット PC モデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

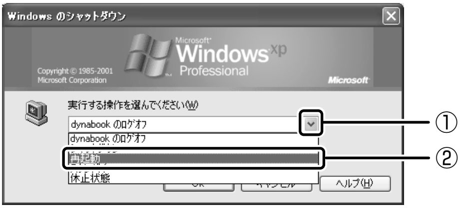


2 ［再起動］をクリックする



【 タブレットPC モデルでドメイン参加している場合 】

［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし①、［再起動］を選択し②、［OK］ボタンをクリックしてください。



（表示例）

パソコンが再起動します。

3 トラブルが起こったときは

1 パソコンの情報を見る／状態を診断する

使用中のパソコンにどのような機能があるか、また調子が悪い場合はどこに問題があるのかを「東芝 PC 診断ツール」で調べることができます。

1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［PC 診断ツール］をクリックする

「東芝 PC 診断ツール」が起動します。

2 パソコンを診断する

1 ［診断ツール］タブで診断する項目をチェックし①、［診断開始］ボタンをクリックする②



確認のメッセージが表示されます。

2 ［はい］ボタンをクリックする

チェックした項目を上から順番に診断します。
チェック項目によっては、診断中にメッセージが表示されますので、確かめて［はい］または［いいえ］／［OK］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
診断が終了すると、メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。結果が表示されます。
問題があった場合は、［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。ヘルプファイルが起動し、主な解決方法が表示されます。
［ハードディスク］を診断すると、フォーマットされていない装置は「問題あり」と表示されます。必要に応じてフォーマットしてください。

3 診断結果を保存する

診断結果をファイルに保存できます。

1 ［ファイルに保存］ボタンをクリックする

2 ファイルの保存場所とファイル名を指定し、［保存］ボタンをクリックする

確認のメッセージが表示されます。

3 ［はい］ボタンをクリックする

指定した場所にファイルが保存されます。

4 システムに関する情報を表示する

1 ［東芝 PC 診断ツール］画面で、［基本情報］タブをクリックする

本製品の基本情報が表示されます。



表示される内容は、「東芝 PC 診断ツール」を起動した時点での設定内容です。設定を変更した場合は、パソコン本体を起動しなおすと変更後の設定内容が表示されます。ただし、［CPU］の項目には、搭載されている CPU の最大クロック数（固定値）が表示され、これはユーティリティなどによる設定値には影響されません。

ヘルプの起動方法

1 「東芝 PC 診断ツール」を起動後、［ヘルプ］ボタンをクリックする

② セーフモードで起動する

セーフモードで起動すると、パソコンが起動するために必要最低限のファイルのみを読み込んで起動するので、特定の周辺機器などが原因でパソコンを起動できない場合などに、問題を解決できることがあります。アプリケーションの追加後に、エラーが起こった場合は、セーフモードで起動してから、追加したアプリケーションを削除してみてください。

1 操作方法

dynabook VX/6 シリーズ、dynabook TX/6 シリーズでは、次の手順を行ってから手順 3 に進んでください。

① 電源を入れる

② 「dynabook」画面が表示されている間に、(F8)キーを押す
しばらくすると Windows 拡張オプションメニューが表示されます。

1 (F8)キーを押しながら、電源を入れる

2 画面にWindows拡張オプションメニューが表示されたら、(F8)キーから指を離す

3 (↑)キーまたは(↓)キーで［セーフモード］を選択し、(ENTER)キーを押す

4 ［Microsoft Windows XP Home Edition］が反転していることを確認し、(ENTER)キーを押す

場合によっては、起動までに時間がかかります。

3 正常な状態で起動しなおす

周辺機器のドライバの更新中やシステム（OS）のアップデート中にトラブルが発生した場合、次の手順を行うと、前回正常に起動したときの構成でWindowsを起動できます。

1 操作方法

dynabook VX/6シリーズ、dynabook TX/6シリーズでは、次の手順を行ってから手順3に進んでください。

① 電源を入れる

②「dynabook」画面が表示されている間に、F8キーを押す
しばらくするとWindows拡張オプションメニューが表示されます。

1 F8キーを押しながら、電源を入れる

2 画面にWindows拡張オプションメニューが表示されたら、F8キーから指を離す

3 ↑キーまたは↓キーで［前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定)］を選択し、ENTERキーを押す

4 ［Microsoft Windows XP Home Edition］が反転していることを確認し、ENTERキーを押す

前回正常に起動したときの構成でWindowsが起動します。
場合によっては、起動までに時間がかかります。

4 回復コンソール

Windows XPに重大なエラーが発生して起動できないような場合、回復コンソールを使って起動環境の復元やファイルの救出などを行うことができます。
回復コンソールは正常に機能しているときにインストールする必要があります。
詳しい使用方法は『ヘルプとサポート センター』で「回復コンソール」を検索し、確認してください。

回復コンソールのインストール

1 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする

2 「C:¥WINDOWS¥I386¥WINNT32.EXE /cmdcons」と入力する

3 ［OK］ボタンをクリックする

［Windows セットアップ］画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。
「ファイル XXXX.... を読み込めなかったため、アップグレードオプションは現在利用できません。....」というメッセージが表示された場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。回復コンソール開始の確認画面が表示されます。
インターネットに接続できない場合は、更新された Windows セットアップをダウンロードすることができませんが、回復コンソールのインストールはそのまま続行することができます。

回復コンソールの操作方法

1 電源を入れる

パソコンを起動したときにオペレーティングシステム一覧が表示されます。
通常、システムを起動する場合は、「Microsoft Windows XP Home Edition」を選択してください。

2 「Microsoft Windows XP 回復コンソール」を選択し、ENTER キーを押す

画面のメッセージに従ってください。

3 コマンドを入力する

「C:¥WINDOWS>_ 」が表示されているときに「help」を入力すると、回復コンソールで入力できるコマンドの一覧が表示されます。
各コマンドの説明については、『ヘルプとサポート センター』でご確認ください。
回復コンソールを終了したい場合は「exit」と入力してください。パソコンが再起動します。

2章

バックアップ

パソコンが故障したり、誤ってファイルなどを削除したときのためにバックアップを作成しましょう。ここではバックアップの説明とOutlook Expressのバックアップ方法、CD／DVDにデータをコピーする方法を紹介しています。快適にパソコンを使うために、あらかじめ読んでください。

1 バックアップとは

バックアップとは、ハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときや、誤ってファイルを削除してしまったときのために、あらかじめファイルをハードディスク以外の記憶メディア（外部記憶メディア）にコピーしておくことです。

複数のユーザで使っている場合は、それぞれのユーザ名でログオンし、データのバックアップを行ってください。
また、ユーザ名が再セットアップ後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。再セットアップする前にユーザ名を控えてください。

お願い

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは､万一故障が起きた場合や､変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については､当社は一切その責任を負いません。

バックアップが必要なデータ

バックアップをとることを推奨するデータには、次のようなものがあります。

- システムの復元（リカバリ）ツール
- 自分で作成したデータ（文書、画像、映像、音楽など）
- 送受信したメール
- メールのアドレス帳
- インターネットの［お気に入り］

【 MS-IME で登録した単語について 】

日本語入力システム MS-IME の「単語／用例登録」で登録したユーザー辞書データをバックアップすることができます。
詳しくは『MS-IME のヘルプ』を確認してください。

【 インターネット接続の設定情報について 】

インターネット接続の設定情報は、データのバックアップがとれません。
設定情報はプロバイダから送られてきた書類に記載されています。書類を大切に保管し、設定に必要な情報を忘れないようにしてください。
書類が手元にない場合は、次のインターネットの設定を控えてください。

- ユーザ ID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリ DNS サーバ
- セカンダリ DNS サーバ
- インターネットメールサーバ
- ニュースサーバ
- アクセスポイントの電話番号

バックアップとして使用できる外部記憶メディア

バックアップ用に使用できる外部記憶メディアは次のようなものがあります。

- フロッピーディスク
- 記録用の CD ／ DVD メディア
- SD メモリカードなどの外部記憶メディア

お買い上げのモデルによっては、使用できるものとできないものがあります。

参照 使用できる外部記憶メディアについて『応用にチャレンジ』

ファイルやフォルダの容量によっては、メディアにすべて保存することができない場合があります。

1 ファイルやフォルダのバックアップをとる

自分で作成したファイルやフォルダはハードディスクドライブや外部記憶メディアに保存されています。［マイドキュメント］内のファイルやフォルダはハードディスクの［Documents and Setteings］に保存されています。

これらのファイルやフォルダは、そのままバックアップ用の外部記憶メディアにコピーすることができます。DVD-RAM 以外の CD ／ DVD にバックアップのデータを書き込む場合は、「本章 3 CD ／ DVD にデータのバックアップをとる」を確認してください。

ファイルやフォルダの保存場所

ファイルやフォルダは次の場所に保存されています。

自分で作成したファイルやフォルダ	保存先を忘れた場合は、［スタート］→［検索］で探すことができます。わかりやすい場所に保存してください。
[マイドキュメント]	［マイコンピュータ］- ハードディスク（C:）-［Documents and Settings］内の各ユーザ名のフォルダに保存されています。
[お気に入り]	
[デスクトップ]	

ショートカットファイルは、リンク先のアプリケーションやファイルがなかった場合、使用できません。
外部記憶メディアに保存したデータのバックアップをとる場合は、一度ハードディスクドライブに保存してから、バックアップ用の外部記憶メディアにコピーすることをおすすめします。

【 バックアップのデータを利用する 】

バックアップをとった［マイドキュメント］、［お気に入り］、［デスクトップ］を利用する方法を説明します。

① ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする
② （C:）ドライブをダブルクリックする
　ドライブの内容が表示されていない場合は、［このフォルダの内容を表示する］をクリックしてください。
③ ［Documents and Settings］フォルダをダブルクリックする
④ バックアップしたデータを利用するユーザのフォルダをダブルクリックする
⑤ 保存した［My Documents］（マイドキュメント）、［お気に入り］、［デスクトップ］フォルダを、ユーザのフォルダ内にコピーする
　それぞれのフォルダが上書きされます。

2 Outlook Expressのバックアップをとる

送受信したメール、メールフォルダ、メールアカウント、登録したアドレス帳のバックアップをとることができます。
ここでは、「Outlook Express」のバックアップ方法と、バックアップしたデータの復元方法を説明します。

参照 「Outlook Express」の使いかたについて《できる dynabook》

1 メールアカウントのバックアップ方法

1 メニューバーの［ツール］→［アカウント］をクリックする

［インターネットアカウント］画面が表示されます。

2 ［メール］タブをクリックし、バックアップしたいアカウントをクリックする

3 ［エクスポート］ボタンをクリックする

［インターネットアカウントのエクスポート］画面が表示されます。

4 ［保存する場所］でバックアップするメディアを選択する

選択する前にバックアップ用の外部記憶メディアをパソコンにセットしてください。
DVD-RAM 以外の CD ／ DVD メディアは、直接保存することができません。その場合は、デスクトップを選択してください。

5 ファイル名を入力して、［保存］ボタンをクリックする

メールアカウントが iaf ファイルとして保存されます。
デスクトップにファイルを保存した場合は、そのファイルをバックアップ用の外部記憶メディアにコピーしてください。

6 ［閉じる］ボタンをクリックする

【 バックアップをとった iaf ファイルを Outlook Express で読み込む 】

①「Outlook Express」を起動する
② メニューバーの［ツール］→［アカウント］をクリックする
［インターネットアカウント］画面が表示されます。
③［メール］タブをクリックし、［インポート］ボタンをクリックする
［インターネットアカウントのインポート］画面が表示されます。
④［ファイルの場所］でバックアップした外部記憶メディアを選択する
選択する前にバックアップした外部記憶メディアをパソコンにセットしてください。
⑤ 復元したいメールアカウントのファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックする
［インターネットアカウント］画面に復元したアカウントの名前が表示されます。

2 電子メールのバックアップ方法

1 デスクトップ上の何もないところで右クリックし、表示されたメニューから[新規作成]→［フォルダ］をクリックする

フォルダ名を入力してください。わかりやすい名前をつけることをおすすめします。

2 「Outlook Express」を起動する

手順 1 で作成したフォルダが［Outlook Express］画面を開いた状態でも見えるように［Outlook Express］画面の位置を調整してください。

3 ［Outlook Express］画面の［フォルダ］の一覧から、バックアップをとりたいメールフォルダをクリックする

画面の右側に選択したメールフォルダに保存されているメールの一覧が表示されます。

4 表示されたメールの一覧からメールをクリックする

メールが選択されます。
必要なメールが複数ある場合は、CTRLキーを押しながら、必要なメールをクリックしてください。
メールフォルダ内のすべてのメールが必要な場合は、メールをひとつクリックして、メニューバーの［編集］→［すべて選択］をクリックしてください。
フォルダ内のメールがすべて選択された状態になります。

5 選択されたメールを手順 1 で作成したフォルダへドラッグアンドドロップする

フォルダ内に電子メールが eml ファイルとして保存されます。フォルダを開き保存されたファイルを確認してください。添付ファイルがあった場合は、添付ファイルが付属された状態で保存されます。「Outlook Express」の元のメールは削除されません。
eml ファイルをバックアップ用の外部記憶メディアに保存してください。

参照 「本章 1-❶ ファイルやフォルダのバックアップをとる」

【 バックアップをとった eml ファイルを Outlook Express で読み込む 】

① 「Outlook Express」を起動する
② メールデータのバックアップを取っておいたフォルダを開く
　開いたフォルダが［Outlook Express］画面を開いた状態でも見えるように［Outlook Express］画面の位置を調整してください。

③ メニューバーの［編集］をクリックし、表示されたメニューから［すべて選択］をクリックする
フォルダ内のすべてのメールのファイルが選択されます。
すべてのメールを読み込ませたくない場合は、必要なファイルだけ選択してください。
④ 選択されたメールを「Outlook Express」の［フォルダ］の一覧にある復元したいフォルダへドラッグアンドドロップする
⑤ メールをドロップしたフォルダをクリックし、画面の右側に手順③で選択されたメールの一覧の内容が表示されることを確認する

3 メールフォルダのバックアップ方法

「Outlook Express」のメールフォルダは、DBX ファイルに保存されています。
メールフォルダ内のすべてのメールを保存していますが、DBX ファイルのみで直接メールを見ることはできません。

1 メニューバーの［ツール］→［オプション］をクリックする
［オプション］画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］タブで［保存フォルダ］ボタンをクリックする
［保存場所］画面が表示されます。

3 ［個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています：］に表示されたパスをコピーする
パスが長くてすべて表示されていない場合もあります。(→)キーを押して文字列をスクロールすると、続きが表示されますので、すべてのパスをコピーするようにしてください。

4 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする

5 ［名前］欄に手順３でコピーしたパスを貼り付け、［OK］ボタンをクリックする
「Outlook Express」で使用している DBX ファイルの保存してあるフォルダが表示されます。
拡張子が「.dbx」のファイルをすべてバックアップ用のメディアに保存してください。
バックアップをとるときは、「Outlook Express」を終了してから行ってください。

参照 「本章 1-❶ ファイルやフォルダのバックアップをとる」

【 バックアップをとったDBX ファイルを Outlook Express で読み込む 】

① メニューバーの［ファイル］→［インポート］→［メッセージ］をクリックする
② ［プログラムの選択］画面で、［Microsoft Outlook Express 6 ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
③ ［場所の指定］画面で［Outlook Express 6 ストアディレクトリからメールをインポートする］をチェックする
④ ［OK］ボタンをクリックする
⑤ ［メッセージの場所］画面で［参照］ボタンをクリックする
⑥ バックアップ手順でメッセージを保存した場所（フロッピーディスクなど）を指定し、［OK］ボタンをクリックする
⑦ ［次へ］ボタンをクリックする
⑧ ［フォルダの選択］画面で、［すべてのフォルダ］をクリックする、または［選択されたフォルダ］をクリックし、読み込ませたいメールフォルダをチェックして、［次へ］ボタンをクリックする
［インポートの完了］画面が表示されます。
⑨ ［完了］ボタンをクリックする
メールのインポートを行った場合、同じメールは上書きされません。インポート作業が完了したあと同じ内容のメールが重複して存在する場合があります。この場合、必要に応じて手動でメールの削除を行ってください。

4 Outlook Expressのアドレス帳のバックアップ方法

1 メニューバーの［ファイル］→［エクスポート］→［アドレス帳］をクリックする

［アドレス帳エクスポートツール］画面が表示されます。

2 ［テキストファイル（CSV）］を選択し、［エクスポート］ボタンをクリックする

［CSV のエクスポート］画面が表示されます。

3 ［参照］ボタンをクリックする

［名前を付けて保存］画面が表示されます。

4 ［保存する場所］にバックアップ先を指定し、［ファイル名］にファイル名を入力する

選択する前にバックアップ用の外部記憶メディアをパソコンにセットしてください。
DVD-RAM 以外の CD ／ DVD メディアは、直接保存することができません。その場合は、デスクトップを選択してください。

5 [保存] ボタンをクリックする

[CSVのエクスポート] 画面に戻り、[エクスポート先のファイル名] にパスが入力されます。

6 [次へ] ボタンをクリックする

7 [エクスポートするフィールドを選択してください] で、バックアップをとりたい項目をチェックする

8 [完了] ボタンをクリックする

「アドレス帳のエクスポートは正常に完了しました」のメッセージが表示されます。

9 [OK] ボタンをクリックする

[アドレス帳エクスポートツール] 画面に戻ります。

10 [閉じる] ボタンをクリックする

【 バックアップをとったアドレス帳をOutlook Expressで読み込む 】

① メニューバーの [ファイル] → [インポート] → [ほかのアドレス帳] をクリックする
[アドレス帳インポートツール] 画面が表示されます。
② [テキストファイル (CSV)] を選択し、[インポート] ボタンをクリックする
[CSVのインポート] 画面が表示されます。
③ [参照] ボタンをクリックする
[ファイルを開く] 画面が表示されます。
④ [ファイルの場所] と [ファイル名] に、バックアップしたファイル名を指定する
⑤ [開く] ボタンをクリックする
[CSVのインポート] 画面に戻り、[インポートするファイルの選択] にパスが入力されます。
⑥ [次へ] ボタンをクリックする
⑦ [インポートするフィールドの割り当て] を変更する場合は、[割り当ての変更] ボタンをクリックして設定する
⑧ [完了] ボタンをクリックする
読み込みたい「Outlook Express」のアドレス帳に同じ連絡先がある場合は、[上書きの確認] 画面が表示されます。表示に従って操作してください。
「アドレス帳のインポートは正常に完了しました」のメッセージが表示されます。
⑨ [OK] ボタンをクリックする
[アドレス帳インポートツール] 画面に戻ります。
⑩ [閉じる] ボタンをクリックする

3 CD／DVDにデータのバックアップをとる

本製品では添付の「RecordNow!（レコードナウ）」、「DLA（ディーエルエー）」を使って、記録用のCD／DVDにデータのバックアップをとることができます。
購入したモデルやアプリケーションによって、使用できないメディアがあります。
「RecordNow!」、「DLA」の操作をする前に、次の表と『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』のドライブの節を読んで、使用できるメディアを確認してください。

○：使用できる　×：使用できない

RecordNow!					
			DLA		
CD-R	DVD-R＊[2]	DVD+R＊[2]	CD-RW	DVD-RW＊[1･2]	DVD+RW＊[1･2]
○	○	○	○	○	○

＊1 実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。
＊2 使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

メモ

DVD-RAMにもバックアップをとることができますが、「RecordNow!」、「DLA」ではDVD-RAMにデータを書き込むことができません。DVD-RAMにデータを書き込む場合は、［マイコンピュータ］でバックアップしたいファイルやフォルダを［DVD-RAMドライブ］にコピーしてください。

参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

「DLA」はCD／DVDにデータを書き込むことができるパケットライトソフトです。［マイ コンピュータ］で目的のファイルやフォルダをドライブにコピーすると、パソコンで作成した文書データなどのファイルをCD-RW、DVD-RW、DVD+RWにも書き込むことができます。
「DLA」でフォーマットしたメディアにのみ書き込むことができます。
「DLA」を使ったフォーマット、設定方法は《オンラインマニュアル（検索）：DLA》をご覧ください。
CD-R、CD-RWなどにバックアップをとった場合、そのデータは書き込み不可になっている場合があります。この場合、バックアップをとったデータを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

お願い 書き込む前に

記録用のCD／DVDに書き込みを行うときは、「RecordNow!」、「DLA」を使用してください。本製品に添付の「RecordNow!」、「DLA」以外のライティングソフトウェアは動作保証していません。Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
CD／DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- 書き込みに失敗したCD／DVDの損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD／DVDに保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- CD-RW、CD-Rに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

  参照 CD／DVDについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを接続して使用してください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

  参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・モデムなどの通信アプリケーション　　など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。

- LAN を経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 「RecordNow!」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。
- 本製品に付属している「RecordNow!」を使用して DVD-Video、DVD-Audio を作成することはできません。
- 書き込み可能な DVD をバックアップする場合は、同じ種類の書き込み可能な DVD メディアを使用してください。
  例）DVD-RW→DVD-RW
  DVD+RW → DVD+RW
- 著作権保護されている DVD-Video を「RecordNow!」を使用してバックアップを作成しても、作成されたメディアで映像を再生することはできません。
- 「RecordNow!」を使用して CD-ROM、CD-R、CD-RW から DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R にバックアップを作成することはできません。
- 「RecordNow!」を使用して DVD-ROM、DVD-Video、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R から CD-R、CD-RW へバックアップを作成することはできません。
- 「RecordNow!」を使用して、他のソフトウェアや、家庭用 DVD ビデオレコーダで作成した DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R のバックアップを作成できないことがあります。
- DVD-R、DVD+R にデータを追記した場合、その DVD-R、DVD+R を他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OS やドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE＊[1]、Windows Me＊[2] などの 16 ビット系 OS では DVD-R、DVD+R メディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0＊[3] では Service Pack 6 以降、Windows 2000＊[4] では Service Pack 2 以降が必要です。また、DVD-ROM ドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

＊1　Microsoft® Windows®98 SECOND EDTION operating system 日本語版を示します。
＊2　Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。
＊3　Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system 日本語版を示します。
＊4　Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版を示します。

お願い 書き込み／削除を行うにあたって

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。

参照 周辺機器について『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「RecordNow!」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

  ①「RecordNow!」を起動し、RecordNow!コンソールの［オプション］ボタン（ ）をクリックする
  ［オプション］画面が表示されます。
  ② 画面左側の一覧の「データ」をクリックする
  ③［データオプション］の「書込み後、ディスクに書き込まれたデータをベリファイする」をチェックする
  ④［OK］ボタンをクリックする

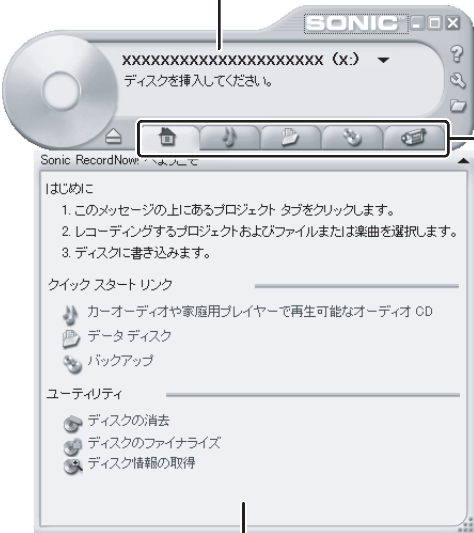
1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［RecordNow!］→［RecordNow!］をクリックする

「RecordNow!」が起動します。

「RecordNow!」の操作画面

RecordNow!コンソール
ドライブやメディアの情報を表示します。



プロジェクトタブ
「RecordNow！」では目的によって、プロジェクトと呼ばれる書き込み方法が複数あります。
それぞれのタブをクリックするとプロジェクトウィンドウにプロジェクトのリストが表示されます。

プロジェクトウィンドウ
CD／DVDの作成方法の説明が表示されます。

2 CD／DVDにデータを書き込む

バックアップしたいデータをCD／DVDに書き込みます。
すでに「RecordNow!」で作成したCD／DVDにデータを追加したい場合は、あらかじめ書き込みを始める前にCD／DVDをドライブにセットしてください。
すでに記録されているデータを消去してもよい場合や、データがない場合は手順４でもセットできます。

1 RecordNow!コンソールの［データプロジェクト］タブ（）をクリックする

データ用のプロジェクトウィンドウに切り替わります。

2 **プロジェクトウィンドウの［データディスク］をクリックする**



3 **記録するファイルやフォルダをプロジェクトウインドウにドラッグアンドドロップする**

プロジェクトウィンドウの一覧にドラッグしたファイル名が表示されます。
また、［フォルダとファイルを追加］ボタンをクリックすると［追加するファイルとフォルダを選択］画面が表示され、記録したいファイルやフォルダを選択することができます。

4 **［書込み］ボタン（ ）をクリックする**

CD／DVDをセットしていない場合は、メッセージ画面が表示されます。
CD／DVDをセットして、［OK］ボタンをクリックしてください。書き込みが開始されます。
書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

5 **［完了］ボタンをクリックする**

ヘルプの起動方法

【 方法1 】

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［RecordNow!］→［RecordNow! ヘルプ］をクリックする**

【 方法2 】

1 **RecordNow!コンソールの［ヘルプ］ボタン（ ）をクリックする**

2 **表示されたメニューの［RecordNow! のヘルプ］をクリックする**

「RecordNow!」のヘルプが表示されます。

4　システム復元ツールのバックアップをとる

パソコン本体には、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元するためのシステム復元（リカバリ）ツールが内蔵されています。「Recovery（リカバリ） Disc（ディスク） Creator（クリエイタ）」を使ってリカバリディスクを作成し、あらかじめ、システム復元ツールのバックアップをとっておくことをおすすめします。

なんらかのトラブルでハードディスクからシステムを復元できない場合でも、リカバリディスクからシステムを復元することができます。
また、リカバリディスクにはハードディスクのシステム復元ツールが起動できるように設定しなおす機能があります。

リカバリディスクがない状態で、システム復元ツールが起動せず、システムの復元が行えない場合は、修理が必要になる可能性があります。

お願い

＊リカバリディスクを作成するには、下記以外にもお願い事項があります。
「本章 3 CD／DVD にデータのバックアップをとる」のお願いを確認してください。

- 「Recovery Disc Creator」では DVD-RAM、DVD-R DL、DVD+R DL を使用できません。
- 「Recovery Disc Creator」を使ってリカバリディスクなどを作成するときは、他のアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
- 「RecordNow!」をアンインストールした場合は、「Recovery Disc Creator」が使用できません。必ず、「RecordNow!」をインストールした状態で行ってください。
- PC カードタイプのハードディスクドライブなどが取り付けてあると、「Recovery Disc Creator」が使用できない場合があります。その場合は、PC カードを取りはずしてからパソコンを再起動してください。

メモ

- 「Recovery Disc Creator」で作成できるシステム復元ツールのリカバリディスクは、モデルによって異なります。
  本製品では、DVD-R（DL を除く）、DVD-RW、DVD+R（DL を除く）、DVD+RW にリカバリ DVD を作成できます。作成するリカバリディスクが複数枚ある場合は、同じ規格のメディアで統一してください。

  参照 使用できる CD ／ DVD メディアについて
  『応用にチャレンジ 1 章 本体の機能』

- リカバリディスクを作成するときは、あらかじめリカバリディスク用のメディアを準備してください。

システム復元ツールのリカバリディスクを作成するには、以降の説明を参照してください。

1 起動方法

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[リカバリメディア作成ツール]をクリックする

「Recovery Disc Creator」が起動します。



ディスクの種類
作成するディスクの種類が「リカバリXXX」と表示されます。続けて「ディスクXX」とディスクの番号が表示されます。

（表示例）

「Recovery Disc Creator」で作成するディスクは、画面に表示される枚数分、メディアが必要です。リカバリディスクを作成するときは、あらかじめリカバリディスク用のメディアを準備してください。

2 リカバリディスクを作成する

1 ［名前］で作成するディスクをチェックする（ ）

チェックボックスにチェックがついているディスクを作成します。作成する必要のないディスクは、チェックをはずしてください。

2 CD／DVD メディアをセットする

3 ［書込み］ボタンをクリックする

書き込みが開始され、［進捗状況］に「ディスクに書込み中です。」と表示され、画面下に残りの時間が表示されます。
書き込みを途中で中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

4 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。
作成するディスクが複数枚ある場合は、メッセージに従って CD／DVD メディアを入れ替えてください。作成したディスクの種類（リカバリディスクなど）と番号がわかるように、ディスク作成後は、忘れずに「リカバリディスク XX」とレーベルをつけてください。システムを復元するとき、この番号通りにディスクを使用しないと、システムは正しく復元されません。必ずディスク番号がわかるようにレーベルをつけてください。

5 ［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

［Recovery Disc Creator］画面が閉じ、ディスクの作成を終了します。

リカバリディスクからシステムを復元する操作手順については、「4 章 2-❸ リカバリディスクから復元する」を参照してください。

3章

Q&A集

トラブルの具体的な解消方法を、トラブルの起こった部位や場面ごとにQ&A形式で説明しています。
また、Q&A集は『オンラインマニュアル』の「QA集」や『よくあるご質問』でも見ることができます。
パソコンの操作ができるときは、『オンラインマニュアル』の「QA集」や『よくあるご質問』も活用してください。

【電源を入れるとき／切るとき】

Q 電源スイッチを押す、またはスライドしても反応しない

A 電源スイッチを押す、またはスライドする時間が短いと電源が入らないことがあります。

Power LED が緑色または青色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

（Battery LED がオレンジ色に点滅しているとき）

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について『応用にチャレンジ 4 章 バッテリ駆動』

（DC IN LED がオレンジ色に点滅しているとき）

＊ dynabook VX/6 シリーズ、dynabook TX/6 シリーズをのぞく

A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。

バッテリパックや AC アダプタを接続し直してください。

参照 バッテリパックの取り付け／取りはずし
『応用にチャレンジ 4 章 バッテリ駆動』

参照 AC アダプタの接続
『さあ始めよう 1 章 3 Windows のセットアップ』

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。

それでも正常に起動しない場合は、強制終了してください。強制終了の方法は、「本章 電源を入れるとき／切るとき - Q.［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない」を確認してください。

強制終了した後、(F12)キーを押しながら電源を入れてください。*1 表示されたアイコンの中からシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブ）を(←)(→)キーで選択し、(ENTER)キーを押すと、システムが起動します。*2

＊1 dynabook VX/6 シリーズ、dynabook TX/6 シリーズでは、電源を入れてから［dynabook］画面が表示されている間に(F12)キーを押してください。

＊2 dynabook TX/6 シリーズでは、メニューが表示されますので(↑)または(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押してください。

A (F8)キーを押しながら電源を入れると、正常な状態で起動しなおすことができます。

dynabook VX/6 シリーズ、dynabook TX/6 シリーズでは、電源を入れてから、［dynabook］画面が表示されている間に(F8)キーを押してください。

参照 詳細について「1 章 3-❸ 正常な状態で起動しなおす」

Q ［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない

A (CTRL)＋(ALT)＋(DEL)キー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押して、電源を切ってください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

● タブレット PC モデルでドメイン参加している場合

① (CTRL)＋(ALT)＋(DEL)キー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押す
［Windows のセキュリティ］画面が表示されます。

② ［シャットダウン］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、(ALT)＋(S)キーを押してください。

③ ［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、(↑)キーや(↓)キーで［シャットダウン］を選択し、(ENTER)キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

● Windows XP Home モデル、またはタブレット PC モデルでドメイン参加していない場合

① CTRL＋ALT＋DEL キー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押す
［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。

② メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、ALT＋U キーを押してください。

③［コンピュータの電源を切る］をクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、U キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A CTRL＋ALT＋DEL キー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押しても反応がない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押す、またはスライドしてください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

Q 使用中に突然電源が切れてしまった

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

それでも電源が切れる場合は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

A バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

● 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）

● 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について『応用にチャレンジ 4 章 バッテリ駆動』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが緑色または青色に点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押したり、スライドしたりしないでください。

(SHIFT)キーや(CTRL)キーを押す、またはタブレットペン、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押す、またはスライドしてください。

また、次の手順で設定を解除できます。

① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする

② [東芝省電力] をクリックする

③ [プロファイル] で利用するプロファイルを選択する

④ [基本設定] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] のチェックをはずす

⑤ [OK] ボタンをクリックする

Q 間違って電源を切ってしまった

A パソコンを終了する場合は、[スタート] メニューから行います。

パソコンが処理をしている最中（Disk LEDが点灯中）に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。

- タブレットPCモデルでドメイン参加している場合

① [スタート] → [シャットダウン] をクリックする

② [シャットダウン] を選択する

③ [OK] ボタンをクリックする

- Windows XP Homeモデル、またはタブレットPCモデルでドメイン参加していない場合

① [スタート] → [終了オプション] をクリックする

② [電源を切る] をクリックする

正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合はエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 エラーチェックの方法「本章 その他 - Q. セーフモードで起動した」

Q F12 キーを押しながら電源を入れても、起動ドライブを変更できない

＊ dynabook TX/6 シリーズをのぞく

A スーパーバイザパスワードを設定するときに、起動ドライブを変更できないように設定を行った可能性があります。

次の操作を行ってください。

- 「東芝パスワードユーティリティ」で設定するモデルの場合

  ［スーパーバイザパスワード］タブの［ユーザポリシー］で「HW セットアップ／BIOS セットアップの使用を許可する」のチェックがはずれていると、［F12］キーを押しながら電源を入れても、起動ドライブの選択ができません。「HW セットアップ／BIOS セットアップの起動を許可する」をチェックしてください。

- 「スーパーバイザパスワードユーティリティ」で設定するモデルの場合

  ［ユーザパスワードモード］で「HW セットアップの起動不可」をチェックしていると、［F12］キーを押しながら電源を入れても、起動ドライブの選択ができません。

  「HW セットアップの起動可」をチェックしてください。

参照 スーパーバイザパスワード
《オンラインマニュアル（検索）：スーパーバイザパスワード》

【画面／表示】

Q 画面に何も表示されない

（Power LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合）

A 電源が入っていないか、スタンバイまたは休止状態になっています。

電源スイッチを押す、またはスライドしてください。

Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない

（Power LED が緑色または青色に点灯している場合）

A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押したり、スライドしたりしないでください。

SHIFTキーやCTRLキーを押す、またはタブレットペン、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。

次の操作を行ってください。

① SHIFTキーやCTRLキーを押すか、タッチパッドを操作する

② ユーザ名選択画面が表示されたらログオンするユーザ名をクリックする

③ Windowsのログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面にWindowsのログオンパスワードを入力し、ENTERキーを押す

参照 Windowsログオンパスワードの入力
『さあ始めよう 4章 1-❷ Windowsログオンパスワードの入力』

A 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。

FN＋F5キーを3秒以上押し続けてください。表示装置が本体液晶ディスプレイに切り替わります。

参照 詳細について『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

Q 画面が暗い

A FN＋F7キーを押して、本体液晶ディスプレイ（画面）の輝度を明るくしてください＊1

FN＋F6キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイの輝度は暗くなります。

FNキーで本体液晶ディスプレイの輝度を変更した場合、パソコンの電源を切ったり再起動したりすると設定はもとに戻ります。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「東芝省電力」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。

詳細は、「東芝省電力」のヘルプを参照してください。購入時の設定では、明るさレベルは最高に設定されています。次の手順で設定を変更してください。*1

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする

② ［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する

③ ［基本設定］タブで［画面の明るさ］を設定する
［設定］ボタンをクリックすると、バッテリの残容量ごとに画面の明るさを設定できます。［解除］ボタンをクリックすると、バッテリの残容量ごとの設定は無効になります。

④ ［OK］ボタンをクリックする

本体液晶ディスプレイのバックライト用蛍光管は使用を続けるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。設定を変更しても明るくならない場合は、使用している機種を確認後、購入店、または保守サービスに相談してください。本体液晶ディスプレイは有寿命部品（有償修理）となります。*2

＊1 この設定は、外部ディスプレイには反映されません。
＊2 有寿命部品については「5章1 アフターケアについて」をご覧ください。

【キーボード】

Q キーを押しても文字が表示されない

A システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形（  ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、キーボードやタブレットペン、タッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q どのキーを押しても反応しない
設定はあっているが、希望の文字が入力できない

A 次の手順で［スタート］メニューから再起動してください。

- タブレットPCモデルでドメイン参加している場合

① ［スタート］→［シャットダウン］をクリックする

② ［再起動］を選択する

③ ［OK］ボタンをクリックする

- Windows XP Homeモデル、またはタブレットPCモデルでドメイン参加していない場合

① ［スタート］→［終了オプション］をクリックする

② ［再起動］をクリックする

A **[スタート] メニューから再起動できない場合は、CTRL＋ALT＋DELキー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押して、再起動してください。**

この場合、保存されていないデータは消失します。

- タブレット PC モデルでドメイン参加している場合

① CTRL＋ALT＋DELキー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押す
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。

② [シャットダウン] ボタンをクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、ALT＋Sキーを押してください。

③ [再起動] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、↑キーや↓キーで [再起動] を選択し、ENTERキーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

- Windows XP Home モデル、またはタブレット PC モデルでドメイン参加していない場合

① CTRL＋ALT＋DELキー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。

② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、ALT＋Uキーを押してください。

③ [再起動] をクリックする
タッチパッドやマウス、タブレットペンで操作できない場合は、Rキーを押してください。プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A **CTRL＋ALT＋DELキー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押して再起動できない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押す、またはスライドしてください。**

電源が切れます。この場合、保存されていないデータは消失します。

しばらくしてから電源を入れ直してください。

強制終了した後パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合は、エラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 エラーチェックの方法「本章 その他 - Q. セーフモードで起動した」

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A **飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスにご相談ください。**

保守サービスへの相談は『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

【タブレットペン／タッチパッド／マウス】

＊購入したモデルによって、マウスは別売りになります。

Q タブレットペン、タッチパッドやマウスを動かしても画面のポインタが動かない（反応しない）

A システムが処理中の可能性があります。

ポインタが砂時計の形（ ⌛ ）をしている間は、システムが処理中のため、タッチパッド、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A マウスが正しく接続されていない可能性があります。

マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

A タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

(FN)＋(F9)キーを押して、タッチパッドを有効に切り替えてください。

参照 タッチパッドについて『さあ始めよう 2章 基本操作を覚えよう』

Q 光学式マウスを使用しているとき、画面のポインタが正しく動かない（正しく反応しない）

＊光学式マウスが同梱されるモデルのみ

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインタがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。

【CD ／ DVD】

Q CD ／ DVD にアクセスできない

A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

参照 CD ／ DVD のセット『さあ始めよう 2 章 基本操作を覚えよう』

A CD ／ DVD がきちんとセットされていない場合は、レーベル面を上にして、水平にセットしてください。

A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。
何かはさまっていると、故障の原因になります。

A CD ／ DVD が汚れている場合は、乾燥した清潔な布でふいてください。
それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布でふき取ってください。

参照 CD ／ DVD の手入れ『応用にチャレンジ 1 章 本体の機能』

A CD ／ DVD を認識していない可能性があります。
ドライブの LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう 1 度アクセスしてください。

Q ドライブの LED が消えない

A 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LED が消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、CTRL ＋ ALT ＋ DEL キー、または Windows セキュリティタブレットボタンを押して再起動してください。
この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 再起動の方法
「本章 キーボード - Q. どのキーを押しても反応しない
設定はあっているが、希望の文字が入力できない」

再起動できない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押す、またはスライドし、電源を切ってから、もう 1 度電源を入れてください。この場合、保存されていないデータは消失します。
再起動後、同じ操作を行っても、LED が消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD ／ DVD が取り出せない

A パソコン本体の電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 CD ／ DVD の取り出し『さあ始めよう 2 章 基本操作を覚えよう』

A パソコン本体の電源が入っている場合は、CD ／ DVD を使用しているアプリケーションをすべて終了してください。

終了後、イジェクトボタンを押してください。

A CD ／ DVD を使用しているアプリケーションをすべて終了していても、CD ／ DVD が取り出せない場合は、パソコンを再起動してください。

再起動後、イジェクトボタンを押してください。

以上の手順でも解決できない場合は、保守サービスに依頼してください。

Q パソコン本体の電源が入らないため、CD ／ DVD が取り出せない

A ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

参照 イジェクトホール『さあ始めよう 2 章 基本操作を覚えよう』

Q DVD-Video をドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。

① ［マイコンピュータ］で DVD をセットしているドライブのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

② ［自動再生］タブで「DVD ムービー」を選択し、［動作］で［動作を毎回選択する］をチェックする

③ ［OK］ボタンをクリックする

参照 DVD-Video の再生について
『図解で読むマニュアル DVD の映画や映像を観る』

【周辺機器】

周辺機器については『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』、『周辺機器に付属の説明書』もあわせて確認してください。

Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？

A 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。
USB対応機器など、周辺機器によっては、パソコン本体が起動した後に電源を入れても使うことができるものがあります。

Q 増設メモリが認識されない

A メモリを増設しても「東芝PC診断ツール」などでメモリ容量の数値が変わらなかった場合、パソコンが増設メモリを認識していない可能性があります。
『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』を参照して、増設メモリを取りはずしてから、もう1度取り付けてください。

【フロッピーディスク】

＊購入したモデルによって、フロッピーディスクドライブは別売りになります。

Q フロッピーディスクのフォーマットができない

（Norton Internet Securityをインストールしている場合）

A 「Norton AntiVirus」の「Auto-Protect」を有効にしているとき、未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットできない場合があります。
次の手順で「Auto-Protect」を無効にしてフォーマットしてください。

① 通知領域の［Norton Internet Security］アイコン（  ）をダブルクリックする
② ［Norton Internet Security］画面で［オプション］をクリックし、表示されたメニューから［Norton AntiVirus］をクリックする
③ ［Norton AntiVirusオプション］画面で［Auto-Protectを有効にする］のチェックをはずす
④ ［OK］ボタンをクリックする

フォーマット後は手順③で［Auto-Protectを有効にする］をチェックし、「Auto-Protect」を有効にしておくことをおすすめします。

Q フロッピーディスクのフォーマットに時間がかかる

A Windows フォーマットをされていないフロッピーディスクをフォーマットする場合は、［クイックフォーマット］が選択できません。

Q 起動用フロッピーディスクからシステムが起動しない

A F12キーを押したまま電源を入れ、表示されたアイコンの中からフロッピーディスクドライブを←→キーで選択し、ENTERキーを押すと、起動ドライブを一時的にフロッピーディスクドライブに変更できます。
dynabook VX/6 シリーズの場合は、電源を入れた直後にF12キーを押し、表示されたアイコンの中からフロッピーディスクドライブを←→キーで選択してください。
dynabook TX/6 シリーズの場合は、電源を入れた直後にF12キーを押し、［3. 取外し可能なデバイス］を↑↓キーで選択してください。

A 「東芝 HW セットアップ」で起動ドライブの設定を変更できます。
次の手順で変更してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする
② ［東芝 HW セットアップ］をクリックする
③ ［OS の起動］タブで［OS の起動］を［FDD］が最初になるように設定する
④ ［OK］ボタンをクリックする

次回から、電源を入れると、フロッピーディスクドライブから起動します。

A 起動用フロッピーディスクが壊れている可能性があります。
壊れていない別の起動用フロッピーディスクを使用してください。

【アプリケーション】

Q アプリケーションが操作できなくなった

A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。
終了後、もう 1 度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

① CTRL＋ALT＋DELキー、またはWindowsセキュリティタブレットボタンを押す
［Windowsタスクマネージャ］画面が表示されます。
［Windowsのセキュリティ］画面が表示された場合は、［タスクマネージャ］ボタンをクリックしてください。

② ［アプリケーション］タブで［応答なし］と表示されているアプリケーションをクリックする

③ ［タスクの終了］ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

④ ［Windowsタスクマネージャ］画面で［閉じる］ボタン（☒）をクリックする

Q BeatJamが起動できない

（OMGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイル、CD Audioトラックをダブルクリックしても、「BeatJam」で再生できない場合）

A 「Windows Media Player」の初回起動時に、音楽再生アプリケーションの設定が変更された可能性があります。

次の手順に従って、「BeatJam」が起動するように設定してください。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックする
「BeatJam」が起動します。

② ツールバーから［メニュー］→［オプション］を選択する

③ ［関連付け］タブで［OpenMGファイル(oma, omg)］、［MP3ファイル(mp3)］、［Windows Media Audioファイル(wma)］、［WAVファイル(wav)］、［CD Audio トラック(cda)］をチェックする

④ ［OK］ボタンをクリックする

【メッセージ】

Q 画面に「Password=」または「パスワードを入力して下さい。」と表示された

A パスワードの入力などによる認証が必要です。

次の操作を行ってください。

【東芝パスワードユーティリティ搭載モデルの場合】

① 「東芝パスワードユーティリティ」またはBIOSセットアップで登録したパスワードを入力し、ENTERキーを押す

【東芝パスワードユーティリティが搭載されていないモデルの場合】

① 「東芝HWセットアップ」またはBIOSセットアップで登録したパスワードを入力し、ENTERキーを押す

《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》を参照し、パスワードを忘れた場合に備えるようにしてください。購入したモデルによって、キーフロッピーディスク、パスワードファイル、トークンのいずれかを作成しておくことができます。
パスワードを忘れた場合や、キーフロッピーディスク、パスワードファイル、トークンを作成していない場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」「パスワードが誤っています。」と表示された

A **入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。**
Caps Lock LEDを確認してください。必要に応じてSHIFT+CAPS LOCK英数キーを押して入力の状態を切り替え、もう1度入力してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

A **ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。**
休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

① 電源スイッチを5秒以上押す、またはスライドし、パソコンを強制終了する
② 再び電源スイッチを押す、またはスライドして、パソコンを再起動する
「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。
③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、ENTERキーを押す
Windowsが起動します。

Q 「0271: Check data and time settings … Press <F1> to resume , <F2> to Setup」と表示された

＊ dynabook TX/6シリーズのみ

A **時計用バッテリが不足しています。**
ACアダプタを接続して、時計用バッテリを充電してください。

参照 時計用バッテリについて『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

その後、次の手順で、BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

参照 BIOS 設定時の操作方法について
『応用にチャレンジ 5 章 3 BIOS セットアップを使う』

① F2キーを押す
BIOS セットアップ画面に移ります。

② [メイン] メニューの [言語：] で [日本語 (JP)] を選択する

③ F9キーを押す
確認のメッセージが表示されます。

④ [はい] を選択し、ENTERキーを押す
BIOS セットアップが標準設定の状態になります。

⑤ [メイン] メニューの [システム時刻：] で時刻を設定する

⑥ [メイン] メニューの [システム日付：] で日付を設定する

⑦ F10キーを押す
確認のメッセージが表示されます。

⑧ [はい] を選択し、ENTERキーを押す
BIOS セットアップが終了し、パソコンが再起動します。

Q 「RTC battery is low or CMOS checksum is inconsistent」「Press[F1]Key to set Date/Time.」と表示された

＊タブレットPC モデルのみ

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて『応用にチャレンジ 4 章 バッテリ駆動』

AC アダプタを接続後、次の手順で BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

① F1キーを押す
BIOS セットアップ画面が表示されます。

② ↑↓←→キーを使って、[SYSTEM DATE/TIME] の [Date] を選択し、SPACEキーで日付を設定する

③ 手順②と同様に [Time] で時刻を設定する

④ FN＋→キーを押す
確認のメッセージが表示されます。

⑤ Yキーを押す
設定内容が有効になり、BIOS セットアップが終了します。
パソコンが再起動します。

Q 「Check system. Then press [F1] Key.」と表示された

＊ dynabook VX/6 シリーズのみ

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し、電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて 『応用にチャレンジ 4 章 バッテリ駆動』

AC アダプタを接続後、次の手順で、BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

① F1 キーを押す
「Enter Date : ..../../..」と表示されます。

② 日付を入力し、ENTER キーを押す
「Enter Time」と表示されます。

③ 時刻を入力し、ENTER キーを押す
「Enter SETUP press [F1] key, or Load default setting press [F2] key」と表示されます。

④ F2 キーを押す
Windows が起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について
『さあ始めよう 1 章 4 電源を切る／入れる』

Q 休止状態から復帰したとき、「休止モードを準備しています」と表示された

A [コントロールパネル] の [ユーザーアカウント] → [ユーザーアカウント] → [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する] の [ようこそ画面を使用する] がチェックされていると、休止状態から復帰したときにメッセージが表示される場合があります。

ログオンしたいユーザ名をクリックしてください。正常にログオンできます。

Q 「システムは休止状態からの復帰に失敗しました」と表示された

A 休止状態が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。

［復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます］を選択し、ENTERキーを押してください。

Windows が起動します。

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing
  Press any key to restart」

A フロッピーディスクなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、「1 章 1-❷-1 トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

Q C:¥ >_ のように表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。

次のいずれかの操作を行ってください。

- **コマンドプロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える**
  ALT＋ENTERキーを押してください。

- **コマンドプロンプト画面を終了する**
  ① EXITとキーを押す
  ② ENTERキーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

【その他】

Q セーフモードで起動した

A 周辺機器のドライバやアプリケーションが原因で不具合を起こしている可能性があります。

次の手順でエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

① ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする

② (C：）ドライブをクリックする

③ メニューバーから［ファイル］→［プロパティ］をクリックする

④ ［ツール］タブの［エラーチェック］で［チェックする］ボタンをクリックする

⑤ ［チェック ディスクのオプション］で［不良セクタをスキャンし、回復する］をチェックする（ ☑ ）

⑥ ［開始］ボタンをクリックする
チェックには時間がかかります。
チェック後パソコンを再起動し、通常起動するか確認してください。

上記の操作を行っても正常に起動しない場合は、東芝PCダイヤルに連絡してください。

参照 セーフモードについて
《オンラインマニュアル（検索）：セーフモード》

Q 引っ越したときの手続きは？

A 次の変更を行ってください。

1 インターネットに接続する設定を変更する

インターネットに接続する電話回線を、引っ越し後に使用する電話回線に変更してください。
また、プロバイダのアクセスポイントは、引っ越し先の住所に最も近いアクセスポイントに変更することを推奨します。
詳しくは、契約しているプロバイダに問い合わせてください。
設定は次の手順で変更できます。

● 発信元の電話番号の設定

① ［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

② ［電話とモデムのオプション］をクリックする
［電話とモデムのオプション］画面が表示されます。

③［ダイヤル情報］タブでダイヤル元の情報を変更する
使用する電話回線について、次の点を確認してください。

- 登録名
  引っ越し先を新たに登録したい場合は、［新規］ボタンをクリックしてください。
- ダイヤル元の市外局番　● 外線発信番号　● ダイヤル方法

④［OK］ボタンをクリックする

● 接続先の電話番号の設定
①［スタート］→［接続］→［XX（接続先）］をクリックする
［XX（接続先）へ接続］画面が表示されます。
②［プロパティ］ボタンをクリックする
［XX（接続先）プロパティ］画面が表示されます。
③［全般］タブで［電話番号］欄に、これから使用したいアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する
④［XX（接続先）プロパティ］画面で［OK］ボタンをクリックする
⑤［ダイヤル］ボタンをクリックする
変更した設定が有効になります。
すぐに接続する必要がない場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

2 東芝 ID（TID）に登録した住所、電話番号などを変更する

● ホームページから変更する
東芝 ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いいたします。
① インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する
② ページ左側の［東芝 ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様専用ページにログインします。
③ ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。
④［個人情報と TID・パスワードの確認 / 変更］をクリックし、［個人情報の確認 / 変更］をクリックする
［個人情報の確認 / 変更］画面が表示されます。
変更する情報を修正してください。

● 電話で変更する
「東芝 ID 事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

- 東芝 ID 事務局（お客様情報変更）
  TEL：03-3457-4861
  受付時間：9：00 ～ 17：00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関する問い合わせ窓口です。

3章 その他

保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

3 契約しているプロバイダ、Windows や各アプリケーションのユーザ登録などに登録した住所、電話番号などを変更する

詳しくは、各登録先に問い合わせてください。

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のノイズフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

Q パソコンが応答しない

A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 アプリケーションの強制終了の方法「本章 アプリケーション - Q. アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行ってください。

A Windows を強制終了し、再起動してください。

システムが操作不能になったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

参照 Windows の強制終了の方法「本章 電源を入れるとき／切るとき - Q.［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない」

強制終了後、パソコン本体の電源を入れてください。

Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある

A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

参照 ウイルスチェックソフト
『さあ始めよう 3章 ウイルスや不正アクセスを防ぐ』

ウイルスチェックの操作方法がわからない場合や、ウイルス駆除ができなかった場合は、ウイルスチェックソフトのメーカへお問い合わせください。

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから購入店、または保守サービスに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理の問い合わせについて
「1章 1-❸ 東芝PC集中修理センタ」、『東芝PCサポートのご案内』

Q このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1 オンラインマニュアルで調べる

オンラインマニュアルには、パソコン内のオンラインヘルプや電子マニュアルを検索する機能があります。知りたい内容がこのQ&A集に載っていない場合は、オンラインマニュアルで検索してみてください。

参照 オンラインマニュアルについて「1章 1-❶-オンラインマニュアル」

2「よくあるご質問」で調べる

dynabook.comに掲載されているサポート情報の中で、特にお問い合わせの多い項目やトラブル解決方法について記載しています。インターネットに接続できないときでも見ることができます。

参照 「よくあるご質問」について「1章 1-❶-「Q&A集」（QA集）」

3「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。

参照 dynabook.com「1章 1-❹ 本製品のサポート情報を見る」

「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明の後のアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

4 東芝PCダイヤルに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝PCダイヤルでお答えします。『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCダイヤルに連絡してください。

参照 東芝PCダイヤル
「1章 1-❷ 東芝PCダイヤル」、『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、「1章 1-❷-1 トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝PCダイヤルに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口に問い合わせてください。

参照 アプリケーションの問い合わせ先
『図解で読むマニュアル 問い合わせ先』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口に問い合わせてください。

参照 周辺機器の問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

Q パソコンを廃棄したい

A 本製品を廃棄するときは、家庭で使用している場合と企業で使用している場合とで、廃棄方法が異なります。
また、ハードディスク上のデータを消去する必要があります。
詳しくは、「5章 2 廃棄・譲渡について」を確認してください。

Q 海外でパソコンを使いたいときは？

A 次の点に気をつけてください。

1 電圧や電源プラグの形状を確認する

本製品のACアダプタは、AC100～240V（50/60Hz）の電圧に対応しているので、この範囲内の電圧・周波数の国／地域で使用できます。

電源コード（電源プラグからACアダプタまでのケーブル）は、日本の法令・安全規格（AC100V）に適合しています。その他の国／地域で使用する場合は、使用電圧やプラグ形状が異なりますので、お使いになる国／地域の法令・安全規格に適合する電源コード（市販品）をご用意ください。

参照 ACアダプタ、電源コード、電源プラグについて
『さあ始めよう 1章 3- 電源コードとACアダプタを接続する』

2 通信関係の確認をする

● 内蔵モデム、無線LAN

国／地域によっては、モデムや無線LAN装置の使用に認可が必要です。本製品は出荷時に認可を受けていますが、すべての国／地域の認可は受けていません。『応用にチャレンジ』や「オンラインマニュアル」、カタログ、または対応する国／地域を記載したシートで、使用できる国／地域を確認してください。

それ以外の国／地域で本製品を使用する場合は、その国／地域に対応した機器（別売り）を使用するか、内蔵モデムや無線LAN機能の使用はお控えください。東芝製オプションはありません。各国／地域に適合した機器をご購入ください。

● モジュラージャックの形状

モジュラージャックは、国／地域によって形状が異なります。本製品は北米と日本の形状に対応していますが、その他の国／地域ではプラグをその地にあう形状に変換するためのアダプタ（別売り）が必要です。東芝製オプションはありません。各国／地域で安全規格に適合したコードや変換プラグをご購入ください。

● モデム設定ユーティリティ

本製品に内蔵されているモデムは、多数の国／地域で利用可能です。「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」で、使用する国／地域を設定してください。

参照 設定方法
《オンラインマニュアル（検索）：海外でインターネットに接続したい》

3 必要なものを準備する

- 取扱説明書
- Office パッケージ
- 保証書

再セットアップする必要が生じたときのために、Office 搭載モデル、OneNote 搭載モデルの場合は Office Personal 2003 または Office OneNote 2003 のパッケージ一式をお持ちください。本製品はハードディスクから再セットアップできますが、これらのアプリケーションは同梱の CD-ROM から再インストールする必要があります。

参照 再セットアップについて「4 章 1 再セットアップとは」

故障したときのために、保証書と購入時のレシート*1 をお持ちください。
ILW（International Limited Warranty）は海外の所定の地域*2 で ILW の制限事項・確認事項の範囲内で、修理サービスがご利用いただける、東芝の制限付海外保証制度です。保証書が ILW の保証書を兼ねています。
ILW についての詳細は、次のホームページも参照してください。
http://dynabook.com/assistpc/ilw/index_j.htm

＊1 保証書に購入店の捺印と購入日が明記されていれば、必要ありません。
＊2 ILW 対象地域の一部地域では、法律により輸出入が規制されている部品・役務があります。規制に該当する場合は、サービス対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

4 プロバイダを選定する

加入しているプロバイダのアクセスポイントがその地域になければ、メールを送受信するたびに、普段よりも料金が余計にかかります。加入しているプロバイダのアクセスポイントが渡航先にあるか、または、アクセスポイントを持つ他のプロバイダと提携接続サービス（ローミングサービス）を行っていれば、通常通りにメール送受信が可能です。
ご出発前に、加入しているプロバイダのホームページで、アクセスポイントやローミングサービスの有無、設定方法などを確認しておくことをお奨めします。

＜必要な書類など＞

海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、現在販売されている東芝のパソコンを、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、パソコンを他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省 安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

海外で使用する場合については、次のホームページも参照してください。
http://dynabook.com/assistpc/faq/pcdata/800008.htm

4章

再セットアップ

これまでに説明してきたトラブル解消方法では解決できないとき、最後に行うのがパソコンの再セットアップです。再セットアップすることで、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。よく読んでから行ってください。

1 再セットアップとは

システムやアプリケーションを購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。
また、システムを復元せずにハードディスクのデータを消去することもできます。
目的にあった方法を選んでください。

再セットアップする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

作業	参照
バックアップをとる	参照 「2章 バックアップ」
再セットアップ（リカバリ）	参照 「本章 2 システムの復元」
アプリケーションやドライバのインストール	参照 「本章 3-❶ アプリケーションを再インストールする」、《オンラインマニュアル（検索）:アプリケーションを追加（インストール）する》
Office Personal 2003(Word、Excelなど)、Office OneNote 2003のインストール＊1	参照 「本章 3-❷ Office Personal 2003、Office OneNote 2003を再インストールする」
インターネットの設定	参照 《できるdynabook》
ウイルス対策ソフトの設定と更新	参照 『さあ始めよう 3章』
Windows Update	参照 《できるdynabook》
データの復元やメールの設定	参照 「2章 バックアップ」

＊1 Office 搭載モデル、OneNote 搭載モデルのみ

お願い

システムを復元すると、購入後に作成したデータ、設定、インストールしたアプリケーションなどは消去されます。システムを復元する前に「本章 2-❶ はじめる前に」の説明を読んで、データのバックアップなどを行ってください。

1 再セットアップが必要なとき

次のようなときには、「1 章 トラブルを解消するまで」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも、解消できないときに再セットアップしてください。

再セットアップが必要な場合	再セットアップ方法
ハードディスクをフォーマットしてしまった	システムを復元する
ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった	
電源を入れても、システム（Windows）が起動しない	
プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう 1 度インストールしたい	アプリケーションやドライバごとに再インストールする

2 再セットアップ方法

再セットアップには、次の方法があります。目的にあった再セットアップ方法を選んでください。

【 システムを復元する 】

システム購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションの一部を復元します。

参照 詳細について「本章 2 システムの復元」

【 アプリケーションやドライバごとに再インストールする 】

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールできます。

参照 詳細について「本章 3 アプリケーションを再インストールする」

3 再セットアップする前に

1 トラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「1 章 トラブルを解消するまで」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも、解消できないときに再セットアップしてください。

2 データのバックアップをとる

システムの復元をすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめ外部記憶メディアにバックアップをとって保存してください。
また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべて購入時の状態に戻ります。
システムの復元後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
バックアップは、普段から定期的に行っておくことを推奨します。
ただし、ハードディスクをフォーマットしたりシステムファイルを削除した場合や電源を入れてもシステムが起動しない場合は。データを保存することができません。
標準システムの復元を行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

参照 バックアップについて「2 章 1 バックアップとは」

3 パソコンのハードウェア構成を購入時の状態に戻す

フロッピーディスクドライブやマウス、増設したメモリなど、周辺機器を取りはずしてください。

4 ミュートの設定を解除する

(FN)＋(ESC)キーを使って、内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、もう一度(FN)＋(ESC)キーを押して元に戻しておいてください。

2 システムの復元

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
本製品のシステムの復元は、ユーザ権限に関わらず、誰でも実行できます。誤って他の人にシステムの復元を実行されないよう、オンラインマニュアルを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザパスワード
《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》

通常は、ハードディスクからシステムを復元してください。ハードディスクのシステム復元（リカバリ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからシステムが復元できなかった場合などは、リカバリディスクからシステムを復元することをおすすめします。

Office Personal 2003、Office OneNote 2003は、システムの復元後、さらに同梱のCD-ROMで再インストールする必要があります。

参照 詳細について
「本章 3-❷ Office Personal 2003、Office OneNote 2003を再インストールする」

お願い

市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、再セットアップができなくなることがあります。

❶ はじめる前に

システムの復元を行う前に、次の準備を行ってください。

【 必要なもの 】

- 『困ったときは』（本書）、『さあ始めよう』、『応用にチャレンジ』
- リカバリディスク（作成したリカバリディスクからシステムを復元する場合）

【 準備 】

- 必要なデータを保存する
  システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。

  参照 バックアップについて「2章 1 バックアップとは」

  ただし、ハードディスクをフォーマットしたりシステムファイルを削除した場合や電源を入れてもシステムが起動しない場合は、データを保存することができません。システムの復元を行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。
- パソコンのハードウェア構成を購入時の状態に戻す
  フロッピーディスクドライブやマウス、増設したメモリなどを取りはずしてください。

  参照 機器の取りはずし『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

【 システムを復元する方法を選択する 】

システムを復元するには、ハードディスクから行う方法とあらかじめ作成したリカバリディスクから行う方法があります。
リカバリディスクからシステムを復元する場合は、「2章 4 システム復元ツールのバックアップをとる」を確認して、リカバリディスクを用意してください。

- ハードディスクから行う場合
  「本節 ❷ ハードディスクから復元する」を確認してください。
- リカバリディスクから行う場合
  「本節 ❸ リカバリディスクから復元する」を確認してください。

② ハードディスクから復元する

ハードディスクのシステム復元ツールから、システムを復元する方法を説明します。

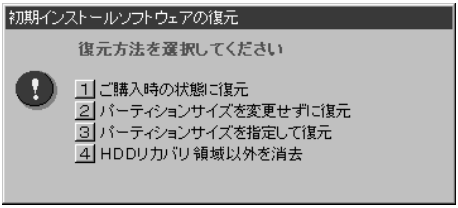
1 パソコンの電源を切る

2 AC アダプタと電源コードを接続する

3 キーボードの⓪（ゼロ）キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

［初期インストールソフトウェアの復元］画面が表示されます。

4 実行したい項目の番号のキーを押す



お願い

［初期インストールソフトウェアの復元］画面で①〜③を選択した場合、Cドライブにはシステム復元ツールから購入時と同じシステムが復元されます。

C ドライブ（ ■ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

メモ

システムを復元する場合、通常は②を選択してください。事前に分割した、Cドライブ以外のパーティションにデータがある場合、手順４で②を選択すると、他のパーティションのデータを残して、C ドライブのシステムだけを復元できます。ただし、BIOS 情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、C ドライブ以外のパーティションにあるデータも使えないことがあります。

それぞれの項目の意味と動作は、次のようになります。

● ①「ご購入時の状態に復元」

パソコンを購入したときの状態（パーティションが 2 個の状態）に戻します。C ドライブ、D ドライブともに作成データ、設定は消去されます。

HDD



「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。手順 5 に進んでください。

● ②「パーティションサイズを変更せずに復元」

C ドライブ以外のパーティションでは、購入後に入力したデータをそのまま保持します。

HDD



（パーティションを分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

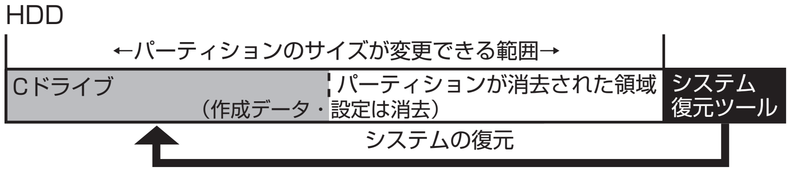
手順 5 に進んでください。

● ③「パーティションサイズを指定して復元」

［マイコンピュータ］の C ドライブ（ハードディスク）のパーティション（領域）のサイズを変更します。

すでにハードディスクにパーティションを区切っている場合、C ドライブ以外のパーティションは消去されます。パーティションが消去された領域（ □ ）は管理ツールで設定すると、ドライブとして使用できます。

管理ツールでの設定方法は「本節 ❹-3 パーティションを設定する」を参照してください。



「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

① Yキーを押す
［パーティションサイズの指定］画面が表示されます。
② ←→キーを使ってパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する
③ ENTERキーを押す
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。

手順 6 に進んでください。

● ④「HDD リカバリ領域以外を消去」

この項目は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏洩を防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、再セットアップ用のデータ領域以外のすべてのデータが削除されます。
詳細は「5 章 2-❷-5 ハードディスクの内容をすべて消去する」を参照してください。

---

5 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。

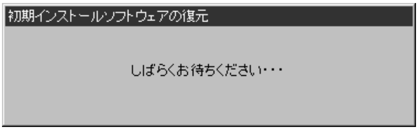
メモ

再セットアップ用のデータ領域が確保されているため、ハードディスクの100%を使用することはできません。

6 Ⓨキーを押す

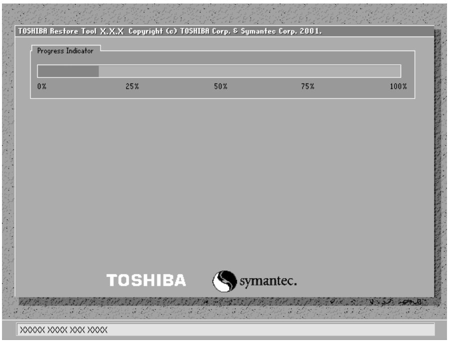
処理を中止する場合は、Ⓝキーを押してください。
復元が実行されます。

復元が実行される前に再起動する場合があります。
また、［しばらくお待ちください・・・］画面が表示されるときがあります。



長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、次の画面が表示されます。



復元の進行状況を示すグラフ表示が 100%まで伸びた後、もう 1 度 0%から始まります。グラフが 2 度目に 100%に達すると完了です。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 何かキーを押す

システムが再起動します。

8 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について『さあ始めよう 1 章 3 Windows のセットアップ』

Windows のセットアップ後、パソコンの診断／環境設定が自動的に行われます。画面の指示に従って操作してください。パソコンの診断／環境設定が終了すると、［dynabook ランチャーのセットアップ］画面が表示されます。

参照 詳細について『さあ始めよう 1 章 3- パソコンの環境を整える』

「dynabook ランチャー」のインストールが終了すると、［東芝 PC アプリケーションインストーラ］画面が表示されますので、続けてアプリケーションをインストールしてください。

参照 詳細について「本節　5-1 アプリケーションをインストールする」

「東芝 PC アプリケーションインストーラ」が終了すると、ウイルスチェックソフトをインストールする画面が表示されます。インストールする場合は、画面の指示に従ってインストールしてください。ただし、システムの復元前にウイルスチェックソフトを使用していた場合、有効期限が過ぎると、サービスは使用できません。

参照 ウイルスチェックソフトについて
『さあ始めよう 3 章 ウイルスや不正アクセスを防ぐ』

一部のアプリケーションは［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］からインストールする必要があります。

参照 詳細について「本章 3-❶ アプリケーションの再インストール」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続『応用にチャレンジ 3 章 周辺機器の接続』

3 リカバリディスクから復元する

「Recovery Disc Creator」で作成したリカバリディスクを使って、システムを復元する方法を説明します。

参照 リカバリディスクの作成
「2 章 4 システム復元ツールのバックアップをとる」

1 AC アダプタと電源コードを接続する

2 リカバリディスクをセットして、パソコンの電源を切る

リカバリディスクが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。

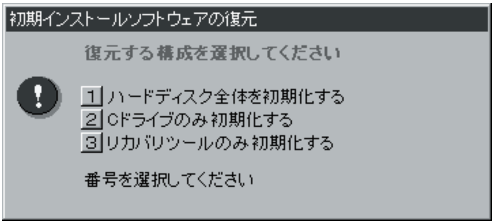
3 キーボードの F12 キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

dynabook VX/6 シリーズ、dynabook TX/6 シリーズの場合は、電源を入れた直後（「dynabook」画面が表示されている間）に F12 キーを押してください。

4 → または ← キーで CD のアイコンにカーソルを合わせ、ENTER キーを押す

dynabook TX/6シリーズの場合は、(↑)または(↓)キーで［2. CD-ROMドライブ］を選択し、(ENTER)キーを押してください。
［初期インストールソフトウェアの復元］画面が表示されます。

5 実行したい項目の番号のキーを押す



（表示例）

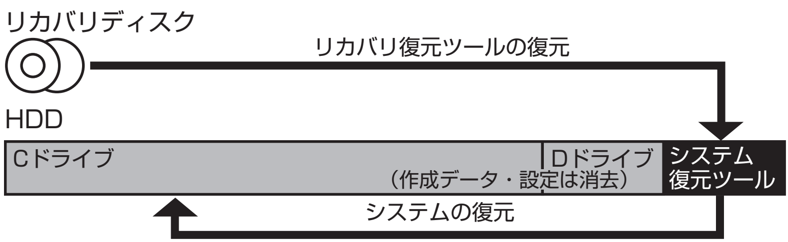
お願い

［初期インストールソフトウェアの復元］画面で①または②を選択した場合、Cドライブには購入時と同じシステムが復元されます。Cドライブ（ ■ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

それぞれの項目の意味と動作は、次のようになります。

- ①「ハードディスク全体を初期化する」

  パソコンを購入したときの状態（パーティションが2個の状態）に戻します。Cドライブ、Dドライブとともに作成データ、設定は消去されます。

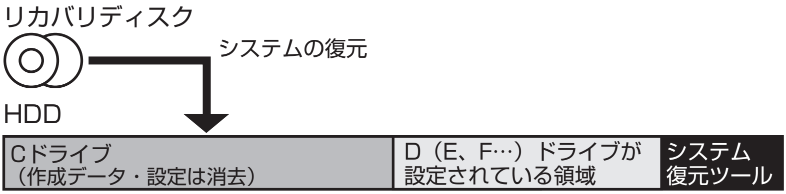


「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
手順6に進んでください。

- ②「C ドライブのみ初期化する」

  C ドライブにパソコン購入時のシステムを復元します。

  複数にパーティションを分割している場合、C ドライブ以外のパーティションでは、購入後に入力したデータをそのまま保持します。



（パーティションを分割している場合の表示例）

  「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

  手順 6 に進んでください。

- ③「リカバリツールのみ初期化する」

  ハードディスクのシステム復元ツールが起動できるように設定しなおします。

  「よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

  手順 6 に進んでください。

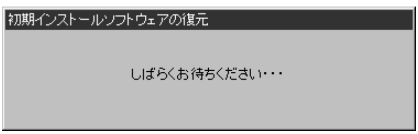
6 Ⓨキーを押す

処理を中止する場合は、Ⓝキーを押してください。

復元が実行されます。

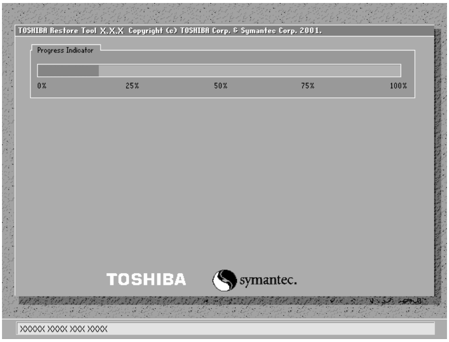
復元が実行される前に再起動する場合があります。

また、［しばらくお待ちください・・・］画面が表示されるときがあります。



長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、次の画面が表示されます。（手順５で③を選択した場合は、この画面は表示されません。）
リカバリディスクが複数枚ある場合、画面の指示に従って入れ替えてください。



復元の進行状況を示すグラフ表示が100%まで伸びた後、もう１度0%から始まります。グラフが２度目に100%に達すると完了です。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 何かキーを押す

システムが再起動します。

8 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について『さあ始めよう１章 3 Windowsのセットアップ』

Windowsのセットアップ後、パソコンの診断／環境設定が自動的に行われます。画面の指示に従って操作してください。パソコンの診断／環境設定が終了すると、［dynabookランチャーのセットアップ］画面が表示されます。

参照 詳細について『さあ始めよう１章 3- パソコンの環境を整える』

「dynabookランチャー」のインストールが終了すると、［東芝PCアプリケーションインストーラ］画面が表示されますので、続けてアプリケーションをインストールしてください。

参照 詳細について「本節　5-1 アプリケーションをインストールする」

「東芝PCアプリケーションインストーラ」が終了すると、ウイルスチェックソフトをインストールする画面が表示されます。インストールする場合は、画面の指示に従ってインストールしてください。ただし、システムの復元前にウイルスチェックソフトを使用していた場合、有効期限が過ぎると、サービスは使用できません。

参照 ウイルスチェックソフトについて
『さあ始めよう３章 ウイルスや不正アクセスを防ぐ』

一部のアプリケーションは［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］からインストールする必要があります。

参照 詳細について「本章 3-❶ アプリケーションの再インストール」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続『応用にチャレンジ 3 章 周辺機器の接続』

4 システムを復元したあとは

1 アプリケーションをインストールする

本項では、Windows セットアップ後に表示される画面に従って、アプリケーションをインストールする方法について説明します。
途中でインストールを中止したり、インストールしなかったアプリケーションを後でインストールする場合は、「本章 3 アプリケーションを再インストールする」を参照してください。
［東芝 PC アプリケーションインストーラへようこそ］画面が表示されている状態で、次のように操作してください。

1 ［次へ］ボタンをクリックする

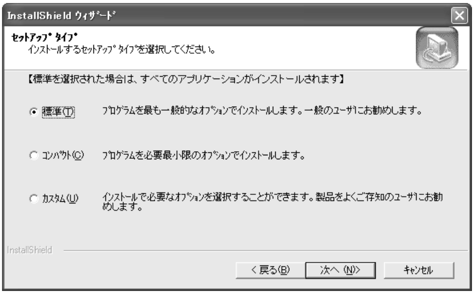


2 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

3 「必ずお読みください」のメッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

インストールを中止する場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

4 ［セットアップタイプ］を選択する



それぞれの項目の意味と動作は、次のようになります。

セットアップタイプ	説明
標準	すべてのアプリケーションをインストールします。
コンパクト	必要最低限のアプリケーションをインストールします。
カスタム	自分でインストールするアプリケーションを選択できます。

5 ［次へ］ボタンをクリックする

手順４で「カスタム」を選択した場合は、インストールするアプリケーションを選択する画面が表示されます。必要のないアプリケーションは、チェックをはずしてください。インストールするアプリケーションを選択後、［次へ］ボタンをクリックします。

6 メッセージを確認し､[OK]ボタンをクリックする

インストールするアプリケーションの一覧が表示されます。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

［次へ］ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。インストールが開始されると、中止できませんので、よく確認してから［次へ］ボタンをクリックしてください。
インストールを中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

インストールが開始されます。インストールの進行状況を示すグラフ表示が100%に達すると完了です。［東芝 PC アプリケーションインストーラの完了］画面が表示されます。

8 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］ボタンをクリックする

パソコンが再起動し、アプリケーションのインストールが終了します。

メモ

- 「東芝PCアプリケーションインストーラ」は、システムの復元（Windowsセットアップ）直後以外では使用しないでください。

2 Office Personal 2003、Office OneNote 2003を再インストールする

＊ Office搭載モデル、OneNote搭載モデルのみ

Office Personal 2003およびOffice OneNote 2003は、以上の手順では復元されません。同梱のCD-ROMで再インストールしてください。

参照 詳細について「本章3-❷ Office Personal 2003、Office OneNote 2003を再インストールする」

ここまでで、購入時の状態の復元は完了です。パーティションの設定を変更してシステムを復元した場合のみ、次項［3］の操作を行ってください。

3 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更してシステムを復元した場合は、復元後すみやかに次の設定を行ってください。

お願い

- Windowsの「ディスクの管理」を使用すると、「HDDRECOVERY」というボリュームのパーティションが表示されます。このパーティションには再セットアップ(システムの復元)するためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、再セットアップはできなくなります。

1 コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする

2 ［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［ 管理ツール］をクリックする

4 ［ コンピュータの管理］をダブルクリックする

5 左画面の［ディスクの管理］をクリックする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする

7 表示されるメニューから［新しいパーティション］をクリックする

［新しいパーティションウィザード］が起動します。

8 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

次の項目を設定します。

・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

9 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【 ヘルプの起動 】

1 メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

3 アプリケーションを再インストールする

アプリケーションを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

Office Personal 2003 および Office OneNote 2003 は、システムの復元後に同梱の CD-ROM で再インストールする必要があります。「本節 ❷ Office Personal 2003、Office OneNote 2003 を再インストールする」を確認してください。

1 アプリケーションを再インストールする

再セットアップ後にアプリケーションを再インストールする方法を説明します。

【 必要なもの 】

- 『困ったときは』（本書）、『応用にチャレンジ』

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

参照 「プログラムの追加と削除」について
《オンラインマニュアル（検索）：アプリケーションの追加と削除》

1 操作手順

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

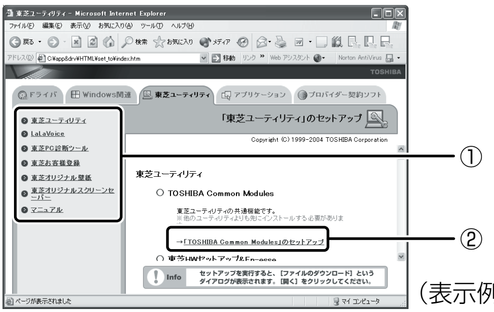
アプリケーションやドライバのセットアップメニュー画面が表示されます。
アプリケーションやドライバのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。



初めて起動したときは、［ドライバ］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3　画面左側のアプリケーション名を選択し①、画面右側の「XXX のセットアップ」をクリックする②

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の青い下線の引かれている言葉をクリックしてください。



（表示例）

4　表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、「実行」ボタンをクリックしてください。

2　Office Personal 2003、Office OneNote 2003 を再インストールする

＊ Office 搭載モデル、OneNote 搭載モデルのみ

文書作成ソフトの「Word」や表計算ソフト「Excel」を使いたい場合は Office Personal 2003 をインストールする必要があります。
ここでは、Office Personal 2003 および Office OneNote 2003 を再インストールする方法を説明します。

【 必要なもの 】

同梱の「Microsoft® Office Personal Edition 2003」または「Microsoft® Office OneNote® 2003」と書いてあるパッケージに、必要なものが一式入っています。

＊OneNote搭載モデルには、「Microsoft® Office OneNote® 2003」のみ同梱されています。

「Microsoft® Office Personal Edition 2003」一式

- Microsoft® Office Personal Edition 2003 CD-ROM
- Microsoft® Office Home Style+ CD-ROM
- Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド

「Microsoft® Office OneNote® 2003」一式

- Microsoft® Office OneNote® 2003 CD-ROM
- Microsoft® Office OneNote® 2003 お使いになる前に

再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。
再インストール方法とセットアップ方法の詳細は、『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』、『Microsoft® Office OneNote® 2003 お使いになる前に』を確認してください。

「読み上げ」および「声で入力」の組み込み方法は、『LaLaVoice ヘルプ』の「マクロのインストール／アンインストール」を確認してください。

【 Service Pack1 について 】

添付のCDからOffice Personal 2003、Home Style+、Office OneNote 2003を再インストールした場合、Service Pack1は組み込まれません。「アプリケーションの再インストール」から再インストールしてください。

参照 アプリケーションの再インストール
「本節 ❶ アプリケーションを再インストールする」

【「手書き入力パッド」を使用するとき 】

Office Personal 2003を再インストールした場合、Microsoft Office WordやMicrosoft Office Excelなどのアプリケーションを使用するときに、IMEツールバーの［手書き］ボタン→［手書き入力パッド］をクリック（または［手書き入力パッド］ボタンをクリック）すると、「言語の入力システムが正常にインストールされていることを確認してください」という警告メッセージが表示される場合があります。
言語の入力システム（MS-IME）は正常にインストールされており、動作上の問題はありませんので、「今後、このメッセージを表示しない」のチェックボックスをチェックして、［OK］ボタンをクリックしてください。

5章

アフターケア

保守や修理などアフターケアを行う保守サービスを利用するときについて。
また、バッテリパックの廃棄やパソコン本体の廃棄・譲渡を行う場合について知っておいて欲しいことなどを説明しています。

1 アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへの相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。
保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。
保守・修理に出す前に、作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- メール
- メールのアドレス帳
- システムの復元（リカバリ）ツール
- インターネットのお気に入り
- 自分で作成したデータ

など

操作方法については、「2 章 バックアップ」を確認してください。

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日に約 8 時間、1ヵ月で 25 日のご使用で約 5 年です。上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、24 時間を超えるような長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換(有料)が必要となります。

【対象品名】

本体液晶ディスプレイ*1、ハードディスクユニット、CD/DVD ドライブ*2、フロッピーディスクドライブ*2、キーボード、タッチパッド、マウス*3、冷却用ファン、ディスプレイ開閉部（ヒンジ）*4、AC アダプタ

＊1　工場出荷時から画面の明るさが半減するまでの期間。
＊2　それぞれ内蔵されているモデルが対象です。
＊3　同梱されているモデルが対象です。
＊4　液晶ディスプレイを開いたときに固定するための内部部品です。

社団法人 電子情報技術産業協会「パソコンの有寿命部品の表記に関するガイドライン」について
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503parts/index.html

消耗品について

【 バッテリパック 】

バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）は消耗品です。
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。
別売りのバッテリパックと交換する前に、必ず指定の製品（型番）を確認してください。

参照 バッテリパックについて『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

【 リモコン用電池について 】

モデルによっては、リモコンが同梱されています。リモコン用電池も消耗品です。
リモコン操作ができなくなったり、到達距離が短くなった場合は、電池を交換してください。

【 タブレットペン 】

タブレットPCモデルに同梱のタブレットペンを破損した場合、または替え芯を使い切った場合は別売りのdynabook用タブレットペンPASTY003と交換してください。

付属品について

付属品については、株式会社ITサービス（本社：044-540-2574）まで問い合わせてください。

保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6ヵ月です。

2 廃棄・譲渡について

1 バッテリパックについて

貴重な資源を守るために、不要になったバッテリパックは廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へ持ち込んでください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

【 バッテリパック（充電式電池）の回収、リサイクルについてのお問い合わせ先 】

有限責任中間法人 JBRC
TEL：03-6403-5673
URL：http://www.jbrc.com

【 リモコン用電池について 】

モデルによっては、リモコンが同梱されています。リモコン用電池については、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体に問い合わせてください。

2 パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、家庭と企業では廃棄方法が異なります。以下の要領にて処理してください。
（本製品は、LCD 表示部に使用している蛍光管に水銀が含まれています。また、鉛を含む部品が使われています。）

【 PC リサイクルマークについて 】

PC リサイクルマーク
製品本体の型番を表示しているシール（本体裏面）に印刷表示します。

1 家庭でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、東芝の家庭系使用済みパソコン回収受付窓口へお申し込みください。
東芝は、PC リサイクルマークが表示されている東芝製パソコンは無料で回収と適切な再資源化処理を実施します。

【 パソコン回収受付窓口 】
東芝 dynabook リサイクルセンタ

【 回収申込方法 】
- 東芝ホームページよりお申し込みの場合
  URL：http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm（24 時間受付）
- 電話にてお申し込みの場合
  東芝 dynabook リサイクルセンタ
  TEL　　：043-303-0200
  受付時間：10：00 ～ 17：00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
  FAX　　：043-303-0202（24 時間受付）

【 回収・再資源化対象機器 】
ノートパソコン、デスクトップパソコン（本体）、液晶ディスプレイ／液晶一体型パソコン、ブラウン管（CRT）ディスプレイ／ブラウン管（CRT）一体型パソコン
＊ 出荷時に同梱されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカ、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンタ他）、マニュアル、CD-ROM などの媒体は回収の対象外です。

2 企業でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を実施しております。
PC リサイクルマーク表示のある東芝製パソコンを産業廃棄物として回収・処理を行う場合の費用については、東芝パソコンリサイクルセンターにお問い合わせください。

【 問い合わせ先 】
東芝パソコンリサイクルセンター
TEL　　：045-510-0255
受付時間：9：00 ～ 17：00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX　　：045-506-7983（24 時間受付）

【 東芝ホームページでご紹介 】
URL：http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm

3 パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに使われているハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

◆ データを「ごみ箱」に捨てる
◆「削除」操作を行う
◆「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
◆ ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
◆ 再セットアップ（リカバリ）を行い、購入時の状態に戻す

などの作業をしますが、これらの作業では、ハードディスク上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、実際のデータは、まだ残っているのです。
したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
お客様が、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、標準添付しているハードディスクデータ削除機能や市販されている専用ソフトウェア、有償サービスの利用や、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をする必要があります。

本製品では、パソコン上のデータをすべて消去することができます。

参照 「本項 5 ハードディスクの内容をすべて消去する」

この機能はWindowsなどのOSによるデータ消去や初期化とは違い、ハードディスクの全領域にデータを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、本機能を使用してデータを消去した場合でも、特殊な装置の使用によりデータを復元される可能性はゼロではありません。あらかじめご了承ください。

データ消去については、次のホームページも参照してください。
URL：http://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm

4 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する

② ページ左側の［東芝ID（TID)］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様専用ページにログインします。

③ ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。

④［退会］をクリックし、登録を削除する

※ TIDを退会されますと、「Shop1048」でのTID会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局（お客様情報変更)」までご連絡ください。

- 東芝ID事務局（お客様情報変更）
TEL　　：03-3457-4861
受付時間：9：00～17：00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関する問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

法人のお客様の場合、サービス内容が家庭のお客様の場合と異なります。
詳しくは、次のホームページを参照してください。
URL：https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

5 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。



なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

> **メモ**
>
> ハードディスク消去機能は、「Recovery Disc Creator」で作成したリカバリディスクからは実行できません。

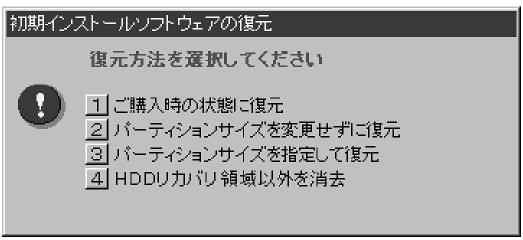
ハードディスクの内容をすべて消去するには、次のように行ってください。

1 パソコンの電源を切る

2 AC アダプタと電源コードを接続する

3 キーボードの(0)（ゼロ）キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

［初期インストールソフトウェアの復元］画面が表示されます。



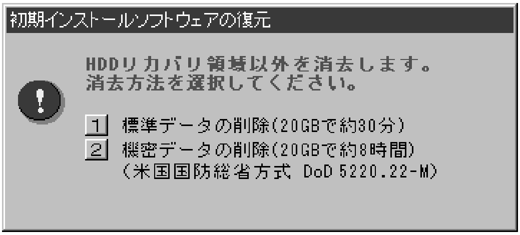
4 (4)キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。

5 Ⓨキーを押す

データの消去方法を選択する画面が表示されます。



6 目的にあわせて、①または②キーを押す

通常は、①キーを押してください。データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、②キーを押してください。数時間かかりますが、HDDリカバリ領域（再セットアップ用のデータ領域）を除き、データは消去されます。

5章 アフターケア

さくいん

< MEMO >